

# JERCO REPORT



質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する。

【2020年 受賞作品 全国最優秀賞】

～還暦を機に庭付き一戸建てへ～  
亡き施主からの継承・再生への決意

(有)徹庚ハウジング

三浦徹様

建築設計事務所

くうかんの森プランニング

川瀬かおり様



photo SAKAI Koji GRAYTONE PHOTOGRAPHS inc.

【巻頭カラー】 ジェルコリフォームコンテスト2020 入賞作品紹介

【年頭所感】 会長 新春メッセージ& 8支部長・3委員長 念頭所感

【ジェルこまち特集】 オンラインデザインセミナー&ジェルこまち DAY

【四半期アンケート調査】 第25回住宅リフォーム市場動向・景況感調査

JERCO

## JERCO VISION 2030

質の高いリフォームを提供し、  
事業者の明るい未来を創造する

### ジェルコ活動3つの柱

しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える





公益財団法人  
住宅リフォーム・紛争処理支援センター

リ推協 一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会

ジェルコリフォームコンテスト

コレカラ

みんなのミカタ

第1種会員



北海道支部

関東甲信越支部



東北支部

中部北陸支部

特別会員

第2種会員



九州支部

近畿支部

沖縄支部

中国四国支部



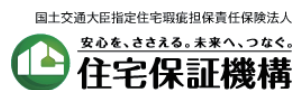
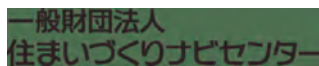
第4種会員

第3種会員



ジェルコ総合補償制度

安心R住宅





一般社団法人  
日本住宅リフォーム産業協会

**JERCO  
REPORT**  
No.285

発行日 2021年 1 月 (創刊 1985年 1 月)  
発行所 一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-3-2 佐藤ビル 3F  
TEL : 03-5541-6050 FAX : 03-5541-0127 URL : <http://www.jerco.or.jp>  
年間購読料 一部 / 500 円 (税込)

# ジェルコリフォームコンテスト 2020

## デザイン部門 受賞作品

全国最優秀賞

「～還暦を機に庭付き一戸建てへ～  
亡き施主からの継承・再生への決意」

(有)徹康ハウジング

建築設計事務所 くうかんの森プランニング



《審査委員講評》 独特の外観をした劣化の激しい中古住宅を購入し、亡き前施主の思いを受け継ぐ決意をしてリフォームしたもの。何とんでもアプローチの変貌が素晴らしい。連窓のパノラマ景観を生かして、キッチン・LD・書斎・洗面・浴室もすべて眺望の良い南側に配意する大胆なプラン革命も成功している。居住性もよく、耐震性・断熱性も格段に向上している。地元産材の活用も好ましい {ナラ材・杉材・珪藻土など}。現地に行って、夏と冬を味わってみたいものである。





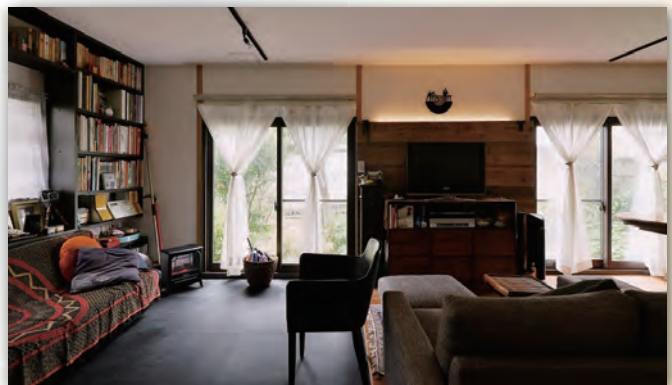
住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞  
 「リビングを町の図書館に」  
 東京ガスリノベーション(株)

《審査委員講評》 既存の平面形状を丁寧に読み解きながら、適材適所とも言えるスペースの選択は内部へといざなうグラデーションを生み出しました。まるで、住み手の人柄を表現しているかのような、「土間エントランス」は懐かしさをも呼び戻しています。本と人の重なる風景を思い描きながら、まさに人のいる風景をデザインしていると言えます。開かれたリフォームが生み出す物語に期待します。住まい手の要望に真摯に向き合う姿勢が大いに評価されました。



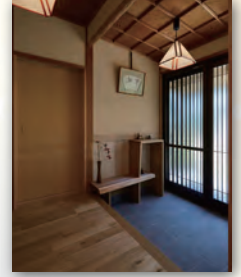
住宅リフォーム推進協議会会長賞  
 「土間に光そそぐ家」  
 ホームテック(株)

《審査委員講評》 ご両親の一軒家を見事に現代に再生されました。「基地としての空間」という言葉が非常に新鮮に響きます。応募部門は玄関ホールですが、階段の向きを変えることにより、家のモチベーションがぐっと上がり、二階の踊り場の活用など、家の隠れた魅力を大いに発揮してくれたりフォームです。玄関・ホールの意匠も秀逸ですが、続く土間には新しい生活様式のヒントが隠されています。美しくシンプルに、かつ基地としての存在感を増しながら、住まい手とともに変化し成長していく住まいの在りようが目に浮かんできます。



**最優秀賞《戸建部門》**  
**「暮らしを穏やかに、ひとやすみ」**  
 (株)カスケホーム

《審査委員講評》 ほのぼのとした、明るさ、落ち着きが素晴らしい。一続きの天井と大きな開放感のある複層サッシで緑豊かな庭とのつながりが得られている。広縁付き続き間和室を思い切ってLDKにしたことが成功した。玄関脇物置を地域の人たちの集会所に開放。ホビー室、パントリーもとれて、間取りは見事に変わっている。



**最優秀賞《マンション部門》**  
**「猫と陽だまり～生家リノベーション～」**  
 (株)OKUTA

《審査委員講評》 同じようなサイズの部屋を割り振った平面からの、最小単位の居場所を考慮しパブリックを押し広げたような平面計画は秀逸です。間取りのメリハリと共に既存コンクリート表しなどの素材感がさらに奥行きを生み出しています。部屋のデザインを超えた居場所のデザインには目を見張るものがあります。

JERCO Reform Design Contest 2012

**最優秀賞《リビングダイニング部門》**  
**「思い出と過ごす家」**  
 (株)オノヤ

《審査委員講評》 何とんでも間取りの絶妙さにうならされる。狭い住宅では、プランニングのうまさがある。二列キッチンという方法で、動線、回遊路を確保し、無駄がない。開口部は二重サッシと、パーチカルブラインドで、断熱性の確保と、明るさと視線のコントロールをしている。仕上げは木と漆喰で、明るく温もりのある内装になった。





**最優秀賞《キッチン部門》**  
**「まるでカフェのような憧れの対面キッチンへリフォーム」**  
 (株)マイホームデザイン

《審査委員講評》 マンションでの対面キッチンへのリフォームは、排水計画の難しさから床に段差が生まれがちですが、手元の立ち上がり壁を利用することで上手に解決しています。デザインも重要ですが、生活する向きという要望に対する真剣な回答は、真に住まい手の安らぎ、心地よさへと繋がっていくことでしょう。



**最優秀賞《サニタリー部門》**  
**「ENGAWA ～猫と私の理想のランドリー空間～」**  
 (株)OKUTA

《審査委員講評》 マンションの制約である水回りを、回転させたり移動させたりと、構造を守りながらこれだけ大胆に生活を変化させることができるという、非常に良い例だと思います。明るいサニタリーは人を(猫も)朝から元気にし一日の決意がわきます。窓が多くある間取りの良さを実によく活用し、動線を確認し生活を豊かにしています。インテリアも素晴らしいので魅せるサニタリー、まさに秀逸なプライベートゾーンです。



**最優秀賞《個室部門》**  
**「終の居場所は『こころの健康リフォーム』で誕生」**  
 (株)育暮家ハイホームス

《審査委員講評》 もと客間だった部屋を両親の終の居場所としてリフォーム。内部は落ち着いた暮らしを想わせる。母親が大切に育てている庭とのつながりも実現している。断熱性もQ値1.8で、親世代が心安らかにゆっくり休める場所になった。





**最優秀賞《外まわり部門》**  
**「昔年のお城（砦）風をイメージした門構え」**  
 (株)近畿ハイム・テック千里



《審査委員講評》 何の変哲もない車庫が櫓のような車庫に変身。施主の要望は「戦国時代の砦のようなデザイン」だった。それを見事に実現した。構造材は古材、ドアも旧来のものを活用。周辺の町並みにどうなじんでいるのか実際に見てみたい。

**最優秀賞《玄関ホール部門》**  
**「思い出の回廊～地域の歴史と祭りの交差点～」**  
 (株)土屋ホームトピア

《審査委員講評》 施主の思いをこの価格でよく実現していただいたと感謝の思いです。祭りのスタート地点、この場所こそ地域の歴史の展示や歓談の場所にふさわしい。外壁の窓がそのまま展示スペースになる何気ない心遣いも秀逸。建物の魅力と歴史、祖父や施主の思いの詰まった交差点・サスティナブルなまさにエシカルなりフォームです！



**《ユーザーフォト部門》**  
**最優秀賞**  
**「おじいちゃんの家 大好き」**  
 (株)安江工務店

## ビジネスモデル部門 受賞作品

経済産業大臣賞  
 ≪新規性・独自性分野≫  
 (株)感動ハウス

《審査委員講評》 顧客満足を目的に、7年間の無償アフターサービスを実施。結果的に施工品質が向上し、メンテナンス工事件数が激減した。また営業手法のマニュアル化、営業プロセスの可視化を進め、誰でも一定レベル以上の共通した接客をすることができるようになった。独自のデータベースを構築し、18年前から契約者情報、工事履歴等、必要情報蓄積により、顧客からの電話着信時にITC機能によって顧客情報がPC上に表示されることで、迅速な対応を可能にしている。さらにリフォーム自動見積システムの開発により、見積作成時間を大幅に削減している。これら顧客満足度と施工品質の向上、営業効率の向上など総合的な取組みを評価。

経済産業省製造産業局長賞  
 ≪新規性・独自性分野≫  
 喜多ハウジング(株)

《審査委員講評》 使っていない部屋を活用し、高齢者が自立して健康で長生きできるようワンルームマンションのようにコンパクトに住まうためのリフォーム提案(ハコリノ)。住まいの改修を断念していた原因を追究し、家守りサービスも付加し、高齢者や離れて暮らす親族に向けての市場創造をしていることと、ハコリノをきっかけとした契約件数が7件、商談中も含め15件の案件が発生している事を評価。

ジェルコ会長賞  
 ≪新規性・独自性分野≫  
 (株)ラン・リグ

《審査委員講評》 リフォーム事業立ち上げの為にプラットフォーム「センリョク」を開発。センリョク加盟の小規模リフォーム事業者には、年商400億円のニッカホームが中心となって、コンプライアンスの徹底、サービス力向上の為に研修、各種情報提供を定期的、継続的に提供し、モノの仕入れ、施工、販促物、人的サポートも行っている。月額約1万円と破格な会費で、有益なノウハウを提供していることを評価。

ジェルコ会長賞  
 ≪将来性・波及性分野≫  
 (株)OKUTA

《審査委員講評》 コロナ禍での新しいビジネスモデル「オンラインルームツアー」を開発。これまでバスツアーとして開催していたものをオンラインで行う。事前にアンバサダーと呼ぶ、OB客の家を動画撮影し、オンライン参加者に内容を説明する他、勉強会もオンラインで開催。以前のバスツアーに比べ、大幅にコストダウンができたことと、これまで106名の申し込みがあったことを評価。

ジェルコ会長賞  
 ≪新規性・独自性分野≫  
 (株)ニッソウ

《審査委員講評》 賃貸物件の原状回復を、取替えではなくリペアを中心に展開。費用が掛からない分、賃貸オーナーのニーズは高い。収益性については職人の多能工化を進めたことで、1日で回れる件数が増え、収益を確保している。売上げ、取扱件数ともに拡大したことを評価。

ジェルコ会長賞  
 ≪新規性・独自性分野≫  
 (株)エス・エム・エス

《審査委員講評》 リフォームのマッチングサービス『ハピすむ』を運営。一般のマッチングサービスと違い、コールセンターが一定の基準を設け、契約精度の高い案件を絞り込み、事業者には案件紹介をする仕組み。直接商談ができる案件に絞り込んで事業者には情報提供しているため、契約率が高い。介護領域での事業も運営しており、介護リフォームや介護施設の改修案件のマッチング実績も多く、社内シナジーを活かしていることなど評価。

# JERCO REPORT

一般社団法人 日本住宅リフォーム産業協会 (JERCO)

## CONTENTS

No.285 2021年 リニューアル第33号

ジェルコリフォームコンテスト デザイン部門 最優秀作 (12 作品) と審査員講評	3
CONTENTS / 巻頭コラム	9
会長 新・春・メ・ッ・セ・ー・ジ	10
全国8支部長&3委員長 年頭所感	12
ジェルコリフォームコンテスト 2020 審査員講評	18
表彰式&デザイン部門作品別講評	24
ジェルこまち特集 ジェルこまち 第2回オンラインデザインセミナー	30
第2回 ジェルこまち DAY2020 @ ZOOM	32
ジェルコリフォーム実態調査 / アンケート調査	34
2・3・4種会員PRコーナー	38
<最新版> ジェルコサービスファイル	40
新入会員紹介	42

### ■□■ 巻頭コラム 「就任から 22 年を振り返って」

右も左もわからない状態で突然前事務局の担当者より引継ぎ、早 22 年が経過しました。

その間会員さんのお別れ、新しい出会い、世代交代等色々なことがありました。

中国四国支部のメンバーは本当に仲が良く、情報交換も常にしておられます。そんな皆さんに助けられ今日に至っております。2年前に就任 20 年の表彰を支部大会でやってくれたこと、これは今でも思い出すと涙が浮かんでくる出来事です。(2年前のジェルコレポートに載っています。書いている今でも涙が浮かびます。)こんなに長期にわたり事務局の仕事を続けるとは夢にも思っておりませんでした。

支部の皆さん、そしていつもミスをサポートしてくれ

る支部長はじめ役員の皆様に感謝の気持ちしかありません。中国四国支部の皆さんは私の宝物です。そんな大切な会員の皆様がジェルコに入会して良かったと思えるような事を企画できるよう頑張っていきたいです。

今年度はコロナ渦でなかなかセミナーも開催できなかったのですが、会議などはオンラインではなくやはりリアルでやりたい！会いたい！という事で9月からはしっかりとコロナ対策を取りながら開催しています。9月は8カ月ぶりに勉強会で皆さんにお会いして、すごく楽しかったです。

新型コロナに負けずに頑張ります！

(中国四国支部 多尾田文香)



## 会長 新・春・メ・ッ・セ・ー・ジ

# リアルとデジタルを活用した積極的な交流を推進



一般社団法人  
日本住宅リフォーム産業協会  
会長 盛 静 男

明けましておめでとうございます。

皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、オリンピック・パラリンピック開催の年で明け、景気浮揚を期待しましたが誰もが予見できなかった新型コロナウイルスパンデミックによって多くの人々の命が失われました。一日も早いワクチンの開発を期待し、同時に世界中の誰もが接種できる仕組みを整えて頂きたいと考えております。

コロナによって様々な社会活動が停滞しましたが多くの気付きもありました。今までに無い大きな台風、豪雨災害にも見舞われコロナウイルスや災害危機をどう乗り越えていくかを世界規模で問われているのではないのでしょうか。

ある調査機関によると民主主義国数 87 に対して非民主主義国数 92 となり自由・民主

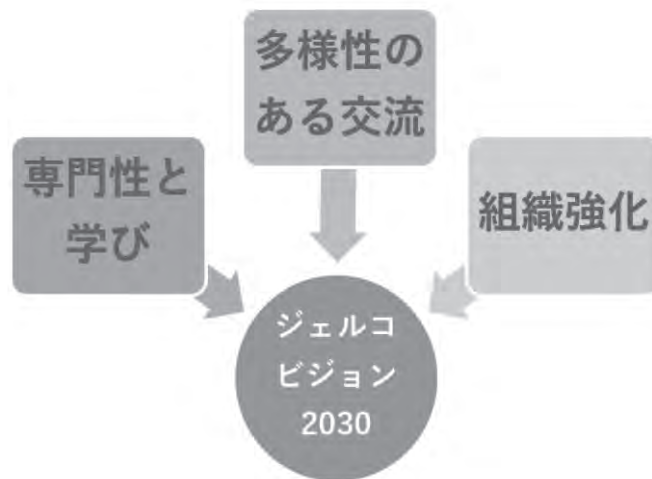
主義が揺らいでいる。背景には、低成長と富の集中があると考えますがコロナ禍で鮮明に映し出されました。最近よく耳にする言葉で「分断」です。分断では無く「結束」を目指さなければなりません。

我々の住宅リフォーム業界は、今も、ブラックなイメージがあります。「3K（きつい、汚い、危険）」です。3Kを払拭する働きやすい環境の提供、コロナを経験して「働き方」の変化が求められています。労働に応じた収入、労働時間短縮、休日、福利厚生を充実させること。リフォーム業界の明るい未来のために目指さなければなりません。そのためには、労働生産性の向上が不可欠です。

例えば、未だに発注業務、現場、職人さんとのやり取りは、FAX・電話、お客様との打ち合わせも対面で行っています。この機会に生産性向上させるための様々な工夫（デ

## ジェルコ活動3つの柱

しっかり学び・しっかり交流し・しっかりした組織で支える



デジタル化等)を重ねることが重要です。

しかし、忘れていけないことは、リフォーム事業者がやるべきことは、リフォーム提案力と施工技術の日々研鑽を重ねること。ここが抜け落ちては、本末転倒ですね。

ジェルコ活動も昨年4月以降は定時総会、理事会、委員会活動、リフォームコンテストなど全てがオンラインでの開催となりました。コロナ禍での活動を通じて正確な情報収集・発信・情報共有できる環境を提供することが大切だと気づきました。

正確な情報収集には、信頼関係が不可欠です。そこには、人と人との繋がり、連携、協力、結束が必要になります。この「連携・協力・結束できるコミュニティづくり」が我々団体がやるべきこと。本部事務局、理事各位の役割です。連携、協力、結束こそが、災害時においても適切で効果的な活動ができる

のです。ジェルコニューノーマルは、会員各位の顔が見える、リアルとデジタルを活用した交流活動を積極的に推し進めたいと考えておりますのでご協力の程よろしく願いいたします。

本年もジェルコビジョン2030「質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する」を合言葉に事業を進めて行きましょう！

皆様にとりまして、新しい年がより佳き年でありますよう心から祈念いたしまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 年 頭 所 感

## ジェルコ・全国の8支部長からの新春メッセージ

新年明けましておめでとうございます。

まずは、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方へのご冥福と現在も全国で苦しんでいる方へお見舞い申し上げます。

昨年2月さっぽろ雪まつり以降に新型コロナウイルスの感染者が急増して全国に先駆けて北海道独自の緊急事態宣言の発動となりました。それ以降、各種イベントは中止、観光産業や飲食店はじめ多くの企業が打撃を受けて社会経済活動は大変な状況が続いております。私たちの生活スタイルや働き方は大きく変化しました。オンライン会議というスタイルにもすっかり慣れて、設計、事務作業は在宅ワーク、リフォームの打ち合わせもリモートでお客様とすることが可能と実践してわかりました。ニューノーマルな時代です。

パンデミックの収束が全世界の願いですが簡単な状況ではない現在、ウィズコロナの生活の中でジェルコ会員の皆様との情報交換、ピンチをチャンスにアフターコロナを見据えたリフォーム事業のありかたを共に考えて前に進んでいきたいと思っております。今年一年、ジェルコ会員企業が益々発展することを祈念いたします。



北海道支部長 新谷孝秀

新謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年4月よりジェルコ東北支部の支部長を務めさせて頂いております東北ユニックスの高橋です。

昨年は、コロナの影響もあり予定しておりましたセミナー等を全て開催ができず非常に残念ではございましたが、その中でも山形を会場としてのセミナーやジェルコまちの開催、また11月の増強セミナーでは対面とオンラインセミナーのハイブリッド開催など東北支部としては初の試みであることを実現できたことは本当に良かったと思っております。

今年はコロナの状況にもよりますが、東北支部の会員会社様との交流会を積極的に開催していきたいと思っておりますし、また今後はよりいっそうお客様からのご要望が多岐に渡ってくるかと思っておりますので、皆様のお役に立てるような情報を積極的に発信していきたいと思っております。

今年も東北支部の皆様と活動を共にしていきながら盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



東北支部長 高橋健一

昨年はコロナ禍で大変な社会現象に見舞われる中でしたが、無事新年を迎える事が出来ました。

関東甲信越支部支部長として、願うのは住宅リフォーム業を通じて会員の皆様・関係者様・お客様の幸せのお役に立ちたい！の一心です。お客様・ジェルコ会員・関係者の皆様が「三方由し」で物心共に幸せになる事を常に考えています。今まで経験した事のないコロナ禍という環境の中で会社を存続させ、社会に貢献するには経営者自らが学び、変革を恐れず、挑戦する事だと思います。お客様の要求（ニーズ）を感じ、社員一丸となって進めば、おのずと道は拓けると思います。

私の尊敬する高校の先輩、セブン&アイ・ホールディングスの名誉顧問鈴木敏文さんのモットーに「変化対応」という言葉があります。未来の可能性は過去の理論では否定できない。自分がこれだと思ったら、全力を傾倒して挑戦する。その道を強引に突き進む。諦めない——。そういうイキイキとした生命力やバイタリテイがなければ、物事は成し遂げられない。住宅リフォーム業界に置いても、変化対応を迫られている時、本年はそのような志で、ジェルコを通じて社会に貢献して参ります。



関東甲信越支部長 山崎昇

あけましておめでとうございます。

昨年の中部北陸支部は、通常例会事業の活動拠点を名古屋としていたこともあり、コロナ禍において活動自粛を余儀なくされた一年を送ることとなりました。新入会員の皆様においては肩透かしの一年としてしまったことをこの場を借りてお詫び申し上げます。されど先行き不透明な状況に大きな変化は無く、行事予定が組みにくい事にも変わりがない事は残念としか言えません。

そこで、コロナ禍であってもジェルコらしく未来を攻めの姿勢で迎えるためにJERCO ニューノーマルについて早急に体制を整えていかなければならない時期と考えています。これまでの常識を次の時代へと変換することで、支部としての枠組みに捉われることなくJERCOの広く深いネットワークを利用した「欲しい情報を、欲しい時に、欲しい人だけ」とることのできる会員のレベルアップが図られる時代がすぐそこまで来ています。楽しみですね。

どの会員にも言えることですが、JERCOに入会した動機は自社のレベルアップのほうです。そのレベルアップをするためにも、今年はぜひより積極的に「情報を取りに」来ていただける一年とさせていただきます。その情報の存在を中部北陸支部は大きく発信してまいります。



中部北陸支部長 太田信吾

# 年 頭 所 感

新年明けまして、おめでとうございます。

昨年の挨拶では、新型コロナウイルスの影響で、ここまで世の中が変わるとは想像もできませんでした。

良い事も、悪い事も含め、それぞれの立場で、まだまだ変化していかないといけない状況ではありますが、ジェルコ近畿支部も止まる事無く、今年も「入って良かったジェルコ！」をスローガンに2月定例会より支部活動を進めてまいります。

また、3月5日には、全国8支部それぞれのリアル会場と本部、9つの会場を全てWebで繋いで、ジェルコとして初めて新しい形の全国交流会を開催いたします。

支部だけの事業ではなく、全国支部と本部協力のもと、セミナーなど、経営者・スタッフさんなども含め、会員の皆様にとってメリットのあるような事業を推進していきたいと思っておりますので是非ご参加ください。

本年も皆様にご協力を頂きながら、支部活動を進めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



近畿支部長 矢島一

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、会員の皆様に参加して頂く機会が限られてしまい申し訳ございませんでした。

まだ先の見えない状況ではありますが、そのような中でも売上を伸ばしている会員様も少なくありません。今年はそのような会員様と中国四国支部の会員様との接点を増やし、情報交換・情報共有をすることで、皆様が成長を実感出来る取組みを目指していきたいと考えております。

1月の支部リフォームコンテスト表彰式が今年のスタートとなります。スタートにふさわしい事例発表等を予定しております。ぜひご参加ください。

本年も中国四国支部の良さである会員様同士の結びつきを強めるお手伝い出来る様に、事務局の多尾田さんと力を合わせて取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



中国四国支部長 田中健太郎



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナで始まりコロナで終わりました。生活スタイル、仕事のやり方、業界の取り組み、すべてが変わった1年でした。また、昨年7月には、熊本県人吉市周辺で、豪雨による川の氾濫、洪水被害で沢山の方が被災され、ジェルコ九州支部会員さん何社で、災害復旧の尽力を尽くされました。素晴らしい事です。大変ありがとうございました。

ジェルコ九州沖縄支部リフォームコンテストでは、昨年を上回る（本部、支部）合わせて、78点応募頂き、審査の先生方から、毎年レベルが上がっていると褒めの言葉も頂いています。

支部活動も、4月よりリモートセミナー、6月支部大会、11月コンテスト表彰式とほぼ毎月行なってきました。会員の皆様には、好評です。ただ残念なのは、リアルにお会い出来ないし、懇親会（アフタージェルコ）が出来なかったですね。早く正常に戻り皆さまにお会いしたいと思います。

今年も新たな形で支部運営を進めて、会員一人一人の皆様の為になる様に、私、支部役員さんと全力で立案して喜ばれる活動にしたいと思っております。



**九州支部長 鈴木茂**

ジェルコ会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。沖縄支部の高良です。本年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年は予想しなかった年になり世の中が一変してしまいました。昨年4月から沖縄支部の支部長を務めさせていただくこととなりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で思い描いていた支部のジェルコ活動が困難になりました。沖縄支部会員の皆様には大変心苦しく思っております。

今年は引き続き会員拡大にも力を入れていきますが、同時に退会防止のためにも各会員への会社訪問、またZOOMやハイブリットでの勉強会セミナー等を積極的に行っていきたいと考えております。今年もしばらくはこのコロナウイルスとうまく付き合っていかなければいけません。今できることをしっかりと進めていきたいと思っております。

お客様と接する機会の多いリフォーム業界ですが、私たちジェルコ会員に安心して工事を任せていただけるように日々努力して参ります。こんな時代だからこそ「質の高いリフォームを提供し、事業者の明るい未来を創造する」、「リフォームで家が変わると暮らしが変わる」。

今年がジェルコ会員の皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。



**沖縄支部長 高良盛幸**

# 年 頭 所 感

## ジェルコ・3委員長からの新春メッセージ

ジェルコ会員の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年はコロナに始まりコロナで終わり、なかなか皆様ともお会いする機会が急激に減り、寂しい限りです。とは言え、これからの新しい社会にやっぱり対応できるようにしないといけませんね。新しい働き方で、ワークとバケーションを足してワーケーションって造語まで出来てきました。ちゃんと対応が出来るようにしなくてははいけませんね。

我々、性能アカデミー委員会は、ジェルコの人材育成から新しいスキーム、商品開発など、皆さん会員さんの欲しているマーケットと、顧客の欲しているマーケットを考えて、取り組んでまいりたいと思います。

コロナにより、ジェルコリフォームの研修制度なども作成していますが、なかなか実践出来ないのので、オンラインを通して、学べるスキームも検討しております。また、行政からの指示での対応も皆さんにお伝え出来るように検討していきますので、ご期待ください。

それでは、我々委員会、皆様の経営にきっとお役立て出来るように取り組んでまいりますので、今年もどうぞ宜しくお願い致します。また、ウィズコロナで、支各支部にお邪魔できるようにになりましたら、宜しくお願い致します。



性能アカデミー委員長  
今井猛

あけましておめでとうございます。

体制整備委員会の森山です。

2020年はコロナパンデミックという未曾有の事態の中の活動となりました。少し時間が経ち振り返った時、ジェルコの中でも大きなターニングポイントである年だったと感じるでしょう。

我々の体制整備委員会でも、リアルな集客、増強ができず非常に漫然とした感じとなる時期もありましたが、夏以降は、ジェルこまち・体制整備セミナーをオンラインとリアルの両方で実施し、経営からデザインのことなど全国に発信するこ



体制整備委員長 森山秀夫

とができました。これは他の業界団体と比べても圧倒的な量と質を提供できたと思っています。

オンラインを使いながら、「会員・支部・本部」が新しいカタチでつながり始めたという実感を得ました。ジェルコのよさの交流は当然今まで通りに進めながら、さらに新しいカタチも追い求め、よりジェルコが成長できるように2021年も進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

---

ジェルコ会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。広報渉外委員会の熊谷でございます。

昨年は、皆様周知の如く『新型コロナ感染拡大』に伴い、当委員会の第12期期首に掲げた

- ①ジェルコ認知活動の積極的な展開
- ②新ホームページの有効活用
- ③ジェルコレポートの企画・運営の推進
- ④リフォームコンテストの実施及び普及活動

の4項目に於いて、何処迄で実績が上げられたでしょうか？

委員会は基より、ジェルコとしてもメインイベントでもあるリフォームコンテストが中止になるやと囁かれましたが、何とかズーム形式の運びとなり、なんせ初めての故にどうなるかと思っていましたが、複数のリハーサルを重ね、当日は150名もの会員がアクセスがあり『災い転じて〜』では無いですが結果としては大変良かったと思います。このノウハウを支部の表彰式で活用されればと思います。

ホームページに於いてはフルリニューアル以降、性能アカデミー委員会のセミナー、体制整備委員のイベント、その他本部から情報発信が非常に解り易くなり、小塚事業部長からの立案プログラマー等非常に活気的で訪問者数アップにも繋がったと思われます。

次年度は、with コロナから after コロナに為る事を祈念しつつ、委員会の活動が会員皆の発展に少しでも役立てればと頑張っ参ります。



広報渉外委員長 熊谷和樹

## ■ビジネスモデル部門

### 応募少なかったが業種、分野広く優れた内容のモデル

今年度のジェルコリフォームコンテスト表彰式は、感染防止のためリモート形式の表彰となったが、受賞作品の審査員講評もネット配信された。ここに各審査員の先生方からの講評・総評を再録した。ビジネスモデル部門の審査員は、審査委員長・坂本雄三氏（東京大学名誉教授）、審査員・寺家克昌氏（一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会専務理事）、審査員・安達功氏（日経BP総研所長）の3氏。

#### IT活用で確実な実績、オーソドックスな手法

**坂本** 受賞者の皆さんおめでとうございます。応募が10件で昨年より少なかったですが、内容的には昨年と比べてそん色なくかなり充実していたと思います。まず経済産業大臣賞を受賞した感動ハウスさんですが、かなりオーソドックスなビジネス手法で確実な業績の向上を実現したものです。その手法を見ますと、一つは7年間の無償アフターサービス。これを看板に掲げることで、社員がクレームがないように仕事を非常に丁寧にするようになり、アフターサービスでの補修が無くなった。社員のモチベーション向上に非常に役立っていると感じました。それから営業のマニュアル化です。営業業務の標準化、組織化などは、いまでは何処でもやっているとは思いますが、IT導入による顧客管理のサービス、CAD等を利用した見積等々、業務のIT化を盛りだくさんに行い実績が出ていることが評価されました。

ジェルコ会長賞のオクタさんは毎回応募されています。今回はコロナ禍に負けない新戦略として「オンラインルームツアー」で受賞されました。これは、オンラインによる営業紹介ビデオです。特徴的なのは、リフォームの事例を提供する50名ほどの顧客の方々をアンバサダーにして、ビデオの中でリフォームの実体験を懇切丁寧に語ってもらっていることです。これは顧客の大きな判断のポイントになると思いました。何故かという、やっぱり、リフォームは消費者が決断しなければ始まらないわけです。リフォームはいくらお金を持っていても必要性があっても、なかなか決断出来ない。日本は住宅に対する投資が欧米に比べてかなり少ないのですが、この原因一つが消費者側の決断の鈍さではないかと思っているので、こうやって実際に体験した消費者の方々が「ちゃんとこうすればいいよ」と真剣に語ってくれることで、リフォームをしようとしている人達の決断を促すことに繋がると評価している次第です。

ジェルコ会長賞のニッソーさんは、リフォームというよりはリペアとか修理に近い。1件当たり10万から100万



審査委員長  
坂本雄三氏

円という程度の少額の修理とか再生です。しかし、それだけで年間12億円の売上を上げている。私は目から鱗というか、こんな商売があるんだと思った次第です。従業員46名で仕事の件数としては年間5200件ほど。工事は細かな小さな作業なんですけどビジネスとして成立するというのは、立派な事ではないかと思った次第です。

#### 多岐にわたる今後のニーズとらえたモデル

**寺家** 受賞者の皆さんおめでとうございます。

最初に全体の感想を述べたいと思います。応募数が少なかったようですが、ただ業種は建設業だけでなくサービス業とか情報通信業とか、非常に多種にわたっています。ビジネスモデルもバラエティーに富んでいたと思います。具体的には大都市型や地方型のビジネス、オンラインとかIT活用、高齢者をターゲットにしたりと、今後の日本社会のニーズをとらえたビジネスモデルが多岐にわたっていたのではないかと思います。

まず製造産業局長賞を受賞された喜多ハウジングさんの作品「ハコリノ」です。これは高齢者が自立して暮らしやすいように、使っていない部屋をリフォームして、コンパクトに暮らしやすい住みやすいリフォームを提供するものです。今地方では高齢者居住の住まいが非常に多く、またその住まいも結構間取りの広い戸建てが多い。高齢者が自立して暮らすには、寒さや段差等の問題が多いのですが、ここに着目して地方特有のニーズとシーズのマッチングをうまく作ったのは見事。非常に独自性が高いビジネスモデルではないかと評価しました。

ジェルコ会長賞のエス・エム・エスさんの「ハピすむ」という取組みは、消費者とリフォーム事業者の方をマッチ



審査員  
寺家克昌氏

ングさせるサービスの提供です。コールセンターでの相談の水準や品質が結構高いと思いました。本気度の高いお客さんに絞り込んで、それを事業者の方に紹介している。月に相談件数が数千件ぐらいあって、そのうち三分の一程度が現地調査まで行っている。ウェブサイトなんですけどデジタルとアナログがうまくハイブリッドをされていると感じました。こういうサービスは、消費者とリフォーム事業者の双方のメリットがある程度高くないと、うまくいかないのですが、消費者に対してはニーズを的確に絞り込んで、そのニーズにヒットするようなりフォーム事業者を紹介している。リフォーム事業者にとってみれば、本気度の高い消費者を紹介してくれる。ジェルコ会長賞のランリグさんは、「センリョク」というリフォーム事業者のボランティアチェーンを運営されている。特に小規模な事業者に対して事業の立ち上げからのサポート・サービスを提供している事業です。ランリグはマーケティング会社で、大手のリフォーム会社のニッカホームとの共同運営ビジネスだということです。双方の強みを生かした異業種連携の成功例だと思います。B to B型の成功例ともなっていて、ビジネスモデルという視点で見ると独自性が高いと評価した次第です。加盟店は中規模、小規模事業者が多く、見方を変えれば、リフォーム業界全体の発展にも貢献されているという意味で評価できるのではないかと思います。

## コロナ禍でビジネスモデルも大きく変化

**安達** 受賞者の皆様大変おめでとうございます。ビジネスモデル部は非常にいい作品ぞろいだったと思います。今年はコロナ禍の中で、非接触のテクノロジー、テレワークなどがビジネスモデルにも非常に大きな変化をもたらした一年になったと思います。私は全体的な話としてコロナ禍を含めて今の環境とリフォームビジネスの今後がどうなるかを少しお話しします。

我々日経BPの総合研究所では5年後の未来はどうなるかというユーザー調査を毎月行っていますが、その中からリフォームに関係しそうな4つの変化をピックアップしてみました。1つ目は、健康志向の高まりです。5年後に向けて高まっていくという傾向が明確に出ています。リフォーム分野ではヘルスケアリフォームがこれから大きく注目されていくと思います。2つ目は、環境意識の高まりと相まって社会課題を解決する意識が非常に高まってく

ること。これで断熱リフォーム、SDGs等が受け入れられるようになってくる。3つ目は、テレワークです。2025年に向けて、職場とリモートワークの組み合わせが主力になっていくと考えている人が多数で、その流れが強まると思います。住宅も仕事をしたり学んだりする場へと多様化していく。4つ目は、デジタル投資です。調査でも85%の人がデジタルインフラへの投資が増えていくと答えています。

さて、応募作品を見ると、今年の受賞作もこの傾向と呼応したのがあります。経済産業大臣賞の感動ハウスさんはIT化をしっかりと進めています。これからリフォームのビジネスモデルを考える上では会社内のIT化、お客様の



審査員  
安達功氏

家のIT化が不可欠だと思います。喜多ハウジングさんの「ハコリノ」ですが、これは部分断熱です。効率よく家の一定のエリアを断熱する。これも時宜にかなっていると考えます。

このようにリフォームビジネスに求められる要素が急速に変化していて更に変化が加速する。そこで重要になるポイントの一つが「透明性とアカウントビリティ」で、説明責任がさらに問われようになっていくと思います。二つ目は、今回のコロナ禍で家の可能性がすごく広がったと思います。働く場であったり、癒す場であったり、あるいは二つの場を使い分ける様な意識のリフォームが増えていくと思っています。三つ目はデジタル対応です。リフォーム事業者の経営自体もデジタル化しなければいけないですし、お客様に提供するリフォームもIT、IoTの力を借りる、そういう流れが急速に強まっています。多分来年以降ビジネスモデル部門の提案の中にもそういった視点を盛り込んだものが、どんどん増え表彰されるようになると思っています。

寺家さんがエス・エヌ・エスとランリグさんを紹介しましたが、多分これだけ変化が早くなるとリフォーム事業者をサポートする事業も今より重みを増してきます。今回の6つの入賞の中にリフォーム事業者をサポートする2つの事例が入った。これは必然的かなあとと思っています。コロナ禍を受けた新しい需要が来年には相当程度出てくる。ここに向けて新しい対応をどんどん進めていただければ、ジェルコリフォームコンクールも更に盛り上がると思います。

## ■デザイン部門

### コロナ時代に見えてきたリフォームの新たなテーマ

デザイン部門の表彰式で昨年から始まった審査員のパネルディスカッション。今回も表彰式の後、上位三賞受賞担当者のプレゼンの後に行われ、受賞作品のポイントや応募作品全体を通してのリフォーム新しい潮流、SDGs時代への対応などが論じられた。これもリモート配信されたが、各審査員の先生方の論点を再録した。デザイン部門の審査員は、審査委員長・上杉啓氏（東洋大学名誉教授）、審査員・玉井清氏（タマイアトリエ級建築士事務所主宰）、審査員・江口恵津子氏（株ヴェルディシモ代表取締役）の3氏。（司会は、菱沼恵美子氏（株輝く人生創造戦略研究所））

**菱沼** ジェルコフォーコンテスト2020のデザイン部門の受賞者の皆さまおめでとうございます。パネルディスカッションでは、審査員の先生方から個々の作品ポイント、そして今後のリフォームの潮流についてお話しいただきます。先ず上杉審査委員長からお願いします。

#### リフォームゼロ番地から見る2つの潮流

**上杉** 受賞者の皆さんおめでとうございます。菱沼さんから潮流ということを言われましたが、その前に「リフォームゼロ番地」というお話をしたいと思います。

まず第一にSDGsということです。これは世界の潮流となってきました。第二に「受け継ぐ」ということです。それは地域の伝統を受け継ぐとか、親からのストックを受け継ぐとかありますが、そういう受け継ぐということが、リフォームの元になるだろうということです。

いまや、SDGsが各地で広まってきています。リフォーム会社としても、これをどう受け止め活動するかを提示しなければいけない時代になって来ています。

こうしたSDGsを念頭にして今回の作品をみると、二つ潮流があると感じています。一つは「外に開く」、第二は「真摯に仕事をする」ということです。

「外に開く」では、応募作品から外に開いた事例を二つ紹介します。一つは「リビングを町の図書館に」という作品です。これは「住宅が社会に開いた」リフォームを示したものと私は受け取りました。プランは土間エントランスに入ると右側の和室の小上がりに座ることもできるし、図書一杯並んで左側に椅子に座って本を出して見ることが出来る。リビングをほとんど本棚にして町の人に開放している。地域とのつながり、地域に開いたリフォームをしている事例です。

もう一つは「思い出の回廊～地域の歴史と祭りの交差点～」という作品です。これは街角にあり細長い敷地に細長い建物が建っている。元々町内会の人達が集まっていたのですが、リフォームを機に、更に観光客とか若い人たちが



審査委員長  
上杉啓氏

集まり、かつ歴史に触れる場にしたということです。中は普通の雑貨屋さんみたいな感じで、オーナーが手持ちの町のお祭りに関連する資料等を並べて、自由に出入りしてもらおうと開放している。前者と同じく外に開くというテーマですが、こちらは地域の伝統を受け継ぐという視点がある。

次は「施主に真摯に向き合う」です。「減築リノベ～建替えNGの救世主～」というタイトルの作品です。大変悪い条件の現場で、まず接道が取れないので建替が出来ない。そして違反建築、ちょっと敷地をはみ出していたということです。また雨漏り、冬寒い、とにかく問題点だらけの建物だった。それが相談に来られて、結果としては良い作品になった。松本市は非常に寒いところですが、一番南に洗濯モノ干し部屋があって、そこに連なって家事室、洗面室と4つの部屋が繋がっている。北国ならではの間取りですが、非常に使いやすくなった。また省エネ工法を提案し、光熱費の事前のシミュレーションを行って、冬季で約



「リビングを町の図書館に」は、「外に開く」の良い事例の作品



審査員  
玉井清氏

57,000円近いコストダウン効果を示した。非常に不利な条件中でフォームの結果、高性能で暮らしや良くなった。こうして見ると性能というのは非常に説得力がある。不利な物件でも、こうした会社の姿勢が第一に大事であり、二番目として担当者の知識と技術力というものが相まって、このような非常に良いリフォームが出来たと思います。施主に真摯に向き合うの事例の一つです。

「思い出と過ごす家」という作品は、親から受け継いだ家を壊したくない、総二階建ての小さな家ですが、建替えかリフォームかで迷っていたものです。結果としてはリフォームが大変良かった。リフォーム後は、お風呂場が大変大きくなって洗面・洗濯場も取れてキッチンもできた。そのプランには大変な知恵が詰め込まれています。その一つは、狭いので廊下でもあるけれどキッチンもあるというプランです。知恵の塊でなければこういう答えは出せない。担当者の知恵の塊で真摯に向き合った事例です。

「終の居場所はこころの健康リフォームで誕生」という作品では、外に突き出した角部屋だったところに両親に快適に住んでもらうようにしたリフォームです。障子張りの和室だったものを洋室にして、高齢の両親が使いやすいようにベッドにした。また庭に出られるよう庭に出入りが出来るようにした。何の変哲もないリフォームに見えるかもしれませんが、お施主さんからは「大好きな庭つながる寝室を提供してもらい本当によかった」と感謝されている。ここに、このリフォームのすべてが表れています。お施主さんの要望を真摯に聞いて、業者としての心と技術力をフルに発揮して家族の満足を得た。業者としてはリフォームの力を示すことができた作品です。

「施主と真摯に向き合う」のは当たり前ではないと言われるかもしれませんが、真摯に向き合うということは、施主の願望に向き合うことです。その実現には担当者の技術力と知識が必要です。そして、担当者に「しっかりやりなさい」という会社の姿勢も重要です。設計者の独断でもなく、会社のマニュアルでもなく、担当者が施主と一緒に悩んで答えを出していくという事です。

私の持論ですけれども、難しい条件ほどユニークな答えが出る、良い解決が出てくると思います。お客さんの満足度を高めることでリフォームならではの答えが出てくる。

それがリフォームの妙味であり、リフォームの力であると思います。

**菱沼** 続きまして玉井審査員にお話しいただきます。テーマは「空きスペースの活用」、「小さな空間の魅力」の二点です。

## プロのフィルターで小さな空間をどうデザイン

**玉井** 作品の解説をする前に、設計者と住まい手の方々の関係で、プロとしてのフィルターをどう通してデザインを起こしていくかということですが、今回感じたのは関係性のデザインということです。目に見えるデザインや人とモノの関係よりも、人と人の関係性がどうデザインされてくるかということです。また住まいの歴史など、リフォームならではのバックストーリーについても注目して見ていきたいと思います。

まず「空きスペースの活用」ですが、「Barn Reborn 1」という作品です。これは納屋の改修です。ストック活用や放っておくと朽ち果てていくようなものに対して、どういう考え方で新しい提案をしていくかが大事なポイントです。これは本当にリフォーム、リノベーションでしか表現できないデザインになりつつあると思っています。古いものと新しいものという異時間がリフォームすることで同時性が生まれる。違った時間が同じ空間上にあるということです。この作品はBarn Rebornの1ですね。これは2、3、4とシリーズになってくるのかなと非常に楽しみです。

次に、個人的に最近非常に興味がある「小さな空間の魅力」です。これは小さな空間を家の中に考えていくこと。今後コロナ禍ではさらに進化していくことと思います。

小さな空間の活用のキーワードを4つ挙げると

①「調えること、素材」。これは最小単位の居場所のデザインが非常に重要です。

②「少しの遊び心と光の計画」。これは既存の持つポテンシャルと向き合うことです。上位三賞の作品も、それと向き合って提案している。

③「シェアのデザイン」。シェアというのは家族間の関係性のことだと思っています。それがどういう風に設計に生かされてくるか。

④「もう一つの心のスペース」。もう一つ、家族に心のスペースが出来てくるということです。

この4つの視点で今回の作品を見てみました。

「猫と日だまり～生家リノベーション～」。実家のマンションのリノベーションです。ラーメン構造ですから基本的に界壁を全部取っ払うことが出来るし、水回りを気を付ければ自由なプランニングが出来る。そこで既存のバルコニーのコーナー窓があるところを日だまりのコーナーとし



「猫と日だまり～生家リノベーション～」は小さな空間活用

た。この小さなスペースをLDKの周囲に張り付けるように配置した。そうすることで小さな家に公共の中庭があるような感じにしている。また面白いのはベッドのエリアが立体的になっていることです。ベッドの部屋への入室は隣の洋室からではなくクローゼットから入ります。これはよく見ないと分からないのですが、クローゼットに階段引き出しがあってそこを登っていくとベッドに上がれる。これは素晴らしいと思いました。非常にデザイン性も高いと思います。

次の作品は、「少しの遊び心と光の計画」の既存のポテンシャルに向き合うというものです。この事例の作品は「眺望を活かした家族のくつろぎ空間」というタイトルで、既存のサービスルームのリフォームです。光の使い方とか素材の考え方がうまい作品です。ここにデスクを置いて並べれば子供たちが勉強できるスペースになるという発想から、子供室から主寝室、ダイニングまで通り抜けられるよう、このRCのマンションの一番長い所を上手に繋げた。東面をLDKに変えて、朝日が入り時間と共に光が移動していくようにした。もう一つ上手なのは随所にアクセントの壁を独立させて立てている。テレビの壁、キッチンの上がり壁など作り方が非常に上手ですね。

次は「シェアのデザイン」での美しさを丁寧に考えるものです。「人も物も自分の居場所を持とう!!」物が片付き、心地よい住まいへ」という作品です。ピフォーは寝室・勉強部屋・食事部屋で個室がなかった。子供はある一定年齢になってくると個室が必要になり、今度はその関係性をどう保つか求められる。アフターでは次男は個室で、他の部屋は父、長男、クローゼット、母親、リビング・ダイニングという形になって、通り抜けが出来るように繋げている。これは設計者がうまくヒアリングで引き出して、そういうプランに行きついたのでと思います。プランニングはそう変わってないが、家族の関係性が非常に変わった。これも僕はデザインであり、プロとしてのフィルターだと思っています。これも非常に注目すべき作品です。

次の作品は、「もう一つの心のスペース」の小ささの個

性です。「青空で繋がるそれぞれの居ドコロと遊びココロ」というタイトル。子供がハンモックに座っている写真が象徴的ですけど、新築ではこういうプランニングは殆どあり得ないです。居室としては、居場所を確保するという事では非常に有効なプランニングとなっていて、小さなスペースを連続させて繋げていくというやり方です。小さくても子供たちの居場所があるということでそこに帰属意識が生まれてくるので、人と繋がるという意味での良いデザインだと思います。

最後ですが、この四つのキーワードをちょっと心に控えておいてもらって、自分たちの仕事は何かというと、プロの意識でプロのフィルターをどう通すかだと思います。また家は時間の入れ物だと思っていますので、リフォームすることで、住まいの時間軸を超えられるものだと思います。私は住まいはタイムマシーンだと思っていますので、時間の事もポテンシャルも考えて頂きたいと思っています。

**菱沼** 玉井審査員、ありがとうございます。それでは、最後に江口審査員にお話しいただきたいと思っています。テーマは「地方移住での中古住宅購入方法という選択～ピンポイントの気付き」です。

## 地方移住の魅力と今後市場性が見える

**江口** 今回、コロナ禍の中で審査しましたが、多数出てきた言葉が「地方移住」です。ステイホームやテレワークで、やはり家族で過ごす居心地の良さが必要だと皆さん実際に体感し、そこから地方移住が現実性を帯びてきたように思います。



審査員  
江口恵津子氏

移住する理由は地価が安いので大きな家にできる、庭付き、テレワークの部屋も作れる等々あるでしょう。また環境が良い子育てもし易い。また、それが空き家問題、地方再生の原動力にもなるのかなと思っています。これからのリフォームの在り方は、地方移住というキーワードでだんだんと変わっていくのではないかと思います。

このテーマで選定させていただいたのは、全国最優秀賞の「亡き施主からの継承、再生への決意」という作品です。中古を探していたお客様がこの物件を見た時、何か通じる





「亡き施主からの継承、再生への決意」はエシカルの継承

ものを感じた。その物件もお客様に会いたがっていた。中古再生では、ただリフォームするだけではなく、建設時の元々の家族と施工者の思いまでも昇華することが出来るという今までにない作品となっています。まさにエシカルの継承であり、三方良しのみんが幸せになれる方法でこの建物を生き返らせた。大変すばらしいドラマになったと思います。

この作品の印象的なことは、元々の建物のフォルム、外観のすばらしさです。それをきちっと受け止めて良いものは残し、今の時代に合わせて設計していったということです。特に、新たに道産杉材と稚内珪藻土を使った地産地消に務めたり、カーポート、袖壁のタイルはそのまま使ったり、新旧併せたデザインを作り出しているところがすごいなと思います。

次は、移住リノベとして別荘地に注目したいと思います。実は別荘地も移住物件の宝庫です。しかし現在は荒れ果てているのが多いのが実態です。でも Wi-Fi 環境等がありテレワークが出来るのであれば非常にポイントが高くなります。そんな事例が、四国に住んでいる IT 関係の方の 1 人住まいの家です。荒れ果てた別荘物件ですが、元々別荘だったので住むだけの家ではないプラスアルファがあった。それをうまく使った事例です。中を見るとステップフロアを使って、あえて凹凸をつけるという面白さ、その真ん中にオーディオがあり、家全体がステレオになるようなデザインです。

中古マンションのリフォーム・リノベーション作品も良い作品が選ばれました。余りお金を掛けずに魅力的なプランが出来るマンションを見つけるポイントを教えてくれる作品、四角四面のマンション空間でワンランク上のコーディネートとしてキッチンに斜めのカウンターを造作した作品、排水に知恵を絞ってオープンキッチンにした作品等々、様々なデザイン、知恵が満載でした。マンションと言うと、構造の制約が多く変更が難しい物件だとするのではなく、色々なアイデアでクリア出来る可能性があることを示しています。

また今回、「住み続ければエシカルじゃない」という題をつけて頂いた作品があります。リフォームそのものがエシカルで、リフォームが社会貢献になるという意識がここまで向上していることに私自身驚きました。去年私は講評でエシカル、エシカルと言っていたようですが、まさにそういう物件を応募して出して頂きました。祖父母とお父さんが住んでいた廃屋となった家があり、若い夫婦とって壊すに壊せないしお荷物だったものをリノベーションして蘇らせた作品です。その廃屋を蘇らせたことで、祖父母やお父さんの思い出とも繋がり、楽しく生活が送れるようになったすばらしい事例かと思います。

最後になりますが、エシカル消費についてお話しさせていただきます。エシカル消費とは「人と社会、地球環境のことを考慮して作られたモノを積極的に購入または消費する」ことです。エシカル消費、倫理的消費と言いますが、ですから、今までであったもの、使えなくなったものを再生する。地産地消などの倫理的に正しいもの、安心できるものを選びながら、モノを作っていくことです。ですからリフォームはエシカルだということになります。コンテストの選考基準に「社会環境を踏まえた今後のリフォームの在り方を提案している」というものがありますが、今年は正に社会環境を踏まえて、これまでと大きく変わってきたリフォーム事例が大変多く見られたと思います。エシカルなことは、自然環境を損なわない、社会の悪を助長しない、地域社会・地域経済を損なわないということですので、まさにこのエシカルなリフォームというのが社会貢献にあたると思っています。

お客様がリフォームすることを迷っていたら、「これは本当にエシカル消費になるんですよ、地球を助けることですよ、持続可能なすばらしい決断ですよ」と、是非背中を押してさしあげたらうれしいなと思います。

**菱沼** 江口審査員有難うございました。ジェルコリフォームコンテスト 2020、コンテスト応募作品から審査員が考える今後の潮流は如何でしたでしょうか。審査員の先生方から、テーマごとにどこをどう考えてどう工夫をすればよしかというお話をしていただきました。

アフターコロナ生活を考えた住まいとしてテレワーク、テレ学習の場、複数の人数で共同共有する工夫、モノの持ち方、使い方の変化、家の中で気分転換が出来る必要性と、新しい課題が出来ました。今回のコンテスト応募作品には、この新しい生活様式の実践例がいくつもあり、パネルディスカッションでも審査員の先生方に取り上げていただきました。建築の世界でもリフォームゼロ番地を肝に銘じて更に新しい世界へとお客様を導くリフォーム作品が次々と登場してくることを期待しております。

# ジェルコリフォームコンテスト 2020 オンライン表彰式を開催



ジェルコリフォームコンテスト 2020 の表彰式が 11 月 18 日にジェルコ本部会議室で、オンライン表彰式が開催された。ジェルコリフォームデザインコンテストから数えて今回 28 回目の開催となった。春先からの新型コロナウイルス感染の全国的な拡大で、会員企業をはじめ業界全体が業績ダウン、営業や現場の感染対策などで大変厳しい仕事環境にあたったが、デザイン部門で 428 作品、ビジネスモデル部門で 10 作品、ユーザーフォト部門で 70 作品の応募があった。コロナ禍の中、アフターコロナ時代を見据えたテーマを掲げた作品が見られるなど、力作、優秀作品が集まった。

表彰式は、ウイズコロナ対策として初の試みとして ZOOM によるオンライン形式の表彰式を行った。東京のジェルコ本部にはジェルコの盛会長をはじめ、後援いただいた国交省、経産省等の来賓が出席、オンラインで結んだ全国の受賞者を表彰した。また、この表彰式と上位入賞者のプレゼンテーション、ビジネスモデル部門とデザイン部門の審査講評として、審査委員によるパネルディスカッションが行われた。これらのオンライン表彰式の模様は一般にも公開され、全国で

171 名が視聴した。昨年までの集合形式の表彰式以上の参加者となった。

表彰式では、表彰状の授与に先立ち、ジェルコの盛会長が「コロナ禍の中でしたが全体で 508 作品の応募がありました。その中から選ばれました 56 作品の受賞者の皆さま、本当におめでとうございます」と挨拶し応募した方々に感謝した。来賓挨拶では、国土交通省住宅局住宅生産課長の石坂聡氏が「ポストコロナではリフォームは内需の柱となる非常に重要な施策ではないかと考えています。国交省では、経済対策として新たなポイント制度などの検討を開始したところです。皆様方のご支援、ご協力を賜りたいと思っています。本日は、本当に皆様おめでとうございます」と挨拶。続いて経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室長の縄田俊之氏は、「今年のコンテストではコロナ下だからこそのお客様ニーズをとらえたご提案やウイズコロナ、アフターコロナ時代を見据えたご提案が多かったものと思います。受賞の皆様心よりお喜び申し上げます。リフォーム産業の発展に今後ますます貢献していただけるものと期待しております」と挨拶した。

# デザイン部門 審査講評

(ここでは全国部門別優秀賞と新人賞、全国特別賞の講評を掲載。ジェルコ会長賞から全国部門別最優秀賞は巻頭カラーページに掲載)

## ■全国部門別優秀賞

### ◀戸建部門▶

#### 株式会社フレッシュハウス

「ゴロゴロ空間・今日は早く家に帰ろう」

**【講評】**性能性を向上させ、屋根変更、二階増築をきちんと施工、長期優良住宅に準ずる住まいへのリフォーム。二世帯同居には難しい物件でも理想の住まいがかなえられた、施工の技術を高く評価します。独立と交流とが良い塩梅で同居する、良きリフォームです。



#### 株式会社ドクターリフォーム・サンセイ

「『姉妹の実家』結んで暮らして」

**【講評】**玄関移動して外観も変わり、家が若返ったようです。開放感のあるビンテージ和モダン空間で子供さんが走って笑って、明るい家族の様子が目に浮かびます。今後庭の充実とともに成長するリフォームです。家族の形も多様化する中このような、リフォームへの期待はますます高くなることでしょう。



#### 株式会社カスケホーム

「ディテールで織りなす心地良い空間」

**【講評】**築年数70年の実家の納屋を4人暮らしの住まいに改装。使われなくなった余剰空間の活用は注目すべき分野であり、美しいことが回答のひとつとなれば、尚、広がりを見せます。既存の天井高さを逆手に取ったプロポーションの選

択、照明計画、外光の取り入れ方など、まさにディテールが織りなされた素晴らしい空間となっています。



#### アイシン開発株式会社「アイシンリブラン」

「無駄に広くて使いにくい→適切な区画で使いやすい」

**【講評】**25年の歳月で世の中の住まいへの考え方も大きく変化しました。その変化と住まい手の意識に対応すべくリフォームされた作品は、基本性能に注視し、機能と繋がりを再考しつつも、新しい住まいのデザインへと昇華させています。



#### 株式会社土屋ホームトピア

「パブリックエリアとパーソナルエリアの有る家」

**【講評】**ガラス作家の次女と共に住むための全面リフォーム。1階はガラス工房のアトリエと近住する長女の孫たちの走り回るパブリックエリア、2階は母娘の



プライベートエリア。ローコスト化の工夫の一つは、間仕切と建具をなくすことだった。間仕切りをなくす一方で耐震補強もされ、Iw値は0.55から1.03に向上。

### 【マンション部門】

#### 株式会社マエダハウジング

「木のぬくもりとコレクションに囲まれる空間」

**【講評】**マンションの中ではあるが、木をふんだんに使い、木の温もりを感じる家となっている。アイランドキッチンも木の天板のようである。LDKを含めて全体に床をあげ、水回りの段差もなくフルフラットになっている。土間を含めたクローゼットで全体の収納力を上げ、角の洋室に開放可能な引戸を導入したのは目新しい工夫である。



#### 株式会社スタイル工房

「眺望を活かした家族のくつろぎ空間」

**【講評】**高台に建つマンションという地の利を利用して、「眺望を生かす」ことを中心にデザインを展開。台所からもパノラマが楽しめる。書斎スペースと子供室の取り方がうまい。旧プランが個室数確保中心の間取りだったが、これを生活感中心の間取り（眺望、素材の質感）にするとこのように大きく変わる好例。



### 株式会社ゆめや

「人も物も自分の居場所を持つ!! “物が片付き、居心地の良い住まいへ”

【講評】限られた既存の広さを家族間でどのようにシェアしていくかを決めていくことは、最も重要です。居場所を考えることは関係を考えることに尽きます。この重要性を理解し、デザインされた空間にはリアリティがあります。かたち以前のデザインがあるからこそ、獲得できた暮らしの空気が感じられます。



### 東京ガスリノベーション株式会社

「家族『一人』でもホッとできる家」

【講評】天井高が決まっているマンションで上下空間の遊びをふんだんに使ってくれている。籠りと開放と、中と外(濡れ縁)と、等、空間の使い方が見事。マンションの箱の中を自由自在に設計してコンパクトな中に充実した暮らしがある。中古住宅再生のアイデア満載。設計の柔軟さに拍手。



### アイ・エス・ガステム株式会社

「Camp Home ～就寝分離・食寝一体～」

【講評】アウトドアリビングとよく言われるが、こちらの作品は個室以外は外に開いている、開放的な暮らし方の実践。



親役の今後の10年をかけがえのない記憶として子供たちと共有する。家族の幸せな間取りですね。都心キャンプ、新しい生活様式の最先端。

### 【リビングダイニング部門】

#### 株式会社マエダハウジング

「被災を乗り越えて～亡き父と共に暮らす家～」

【講評】被害にあった記憶ではなく、亡き父と過ごした思い出を大切にしたい。施主の願いを守りながら、一歩先に行く心優しいリフォームが実現しました。住み続けるための機能を付加し、既存の思いでも随所に盛り込み、秀逸な和モダンインテリア、カラーコーディネート、照明計画、生活動線、よく考えられています。それが実にあっさりやり抜いていることに拍手を送りたい。「本当に大切なものは目に見えないんだよ」星の王子様の言葉を思い出しました。



#### 株式会社松元建設

「家族の時間」

【講評】抜群のインテリアセンス、プランも秀逸。お父さまを想う気持ちがリフォームのすべてにあふれています。間取りがとても良いうえに素材の選び方が統一感あふれ居心地がよさそうです。北欧の豊かな暮らしを髣髴するような、リノベのお手本のような作品です。



#### 株式会社リビング春日井

「減築で叶った、陽の光降り注ぐあったかりビング」

【講評】2階の平面が不明なので少しわ

かりにくいですが、2階6畳のバルコニーへの掃き出し窓をリビングの高窓に利用した事例です。明るさと、その変化に驚きます。省エネも考慮し、2階の部屋形状のまま全てを吹き抜けにせず、勾配天井にしている点はデザインに生きています。残された梁と照明デザインはリフォームならではの工夫です。



#### 株式会社リビング春日井

「外側の部屋ばかりを使う暮らし、改善！家族が集まる快適な暮らし」

【講評】一枚の壁を抜くことで回遊性が見通しを獲得しました。既存の平面と方位などを上手に読み解き、機能を入れ替えることで暮らしを大きく変えることができた素晴らしいリフォームです。住まいの中心(重心)を的確に実現できています。



### 【キッチン部門】

#### 株式会社タナカ住建

「我が家のパーフェクトディスタンスキッチン」

【講評】シンプルなりフォームですが、キッチンを奥から引っ張り出したことで生まれた細長い空間を、お二人の適度な距離感に置き換えたデザインにほほえましさを感じました。家族の気配が分かることは重要です。居場所に機能があること、パントリーの存在、暮らしを豊かにするための「長さをデザインする」好例です。



#### 株式会社 OKUTA

##### 「キッチン KATARAI」

【講評】四角四面の建物の中に、斜め配置は一気に空間をランクアップしてくれます。全体的には大きく間取りは変えずに、開放的かつプライベートも守るといって、大変うまいプランニングです。このお値段で見事にリッチな空間に作り上げたと思います。決め手はこのキッチンの位置。珍しい間取りの中古物件の隠れた魅力を存分に活かした、中古物件探しのバイブルのような事例です。



### 【サニタリー部門】

#### 株式会社アレックス

「デッドスペースも活かしたオートクチュールサニタリー」

【講評】浴室内にデッドスペースを発見した時のドキドキ感とワクワク感をそのまま実現できていますね。まさに一点もの。長居できそうな空間に昼、夜となく

訪れたい気持ちになります。幸せのリフォームです。



### 【個室部門】

#### ホームテック株式会社

「こころほどいて」

【講評】RC造2階建て中古住宅購入のリフォーム。「家族が気兼ねなく使えるスペース」が欲しいとのことで、リビングやダイニングよりもファミリールームを中心にデザインし、それが見事に実現している。一段上がった小ぶりなスペースが人間心理に合っているのだろう。図面の文字が小さくて見えないのが残念。



#### 喜多ハウジング株式会社

「玄関の位置変更で同居のお悩み解決」

【講評】玄関移動で若夫婦の居場所ができたこと、本当に良かったですね。生活のゆとりが家族の幸せのもとになります。ヒヤリングのたまもので施主自身が気づかない要望を引き出したのだと思います。その時代時代に無理にあらがうのではなく、寄り添いながら繰り返すことも、リフォームの力の一つであると感じ入りました。



#### ホームテック株式会社

「青空で繋がる、それぞれの居ドコロと遊びゴコロ」

【講評】小さなスペースはこれからの家族にとって必要かもしれません。それぞれの居場所を訪れながら個性に触れ生活を楽しむ、仲の良い家族の暮らしと子供たちの成長が目に見えます。一般的な平米数に捕われず、各々にとって必要な広さ、居どころを検討してみる必要性を教えられます。



### 【新人賞】

#### 有限会社トウケンホーム

「親子で楽しむシンプルライフ」

【講評】母親と子供が住むらしい。キッチンをアイランド型にし、親子共用のワークスペース(子供の勉強机でもある)とパントリーを設け、床仕上げを変えている。



### 株式会社 green 建築工房

「隠し部屋のある家」

【講評】広さのある鉄骨造の空間、大らかなプランニングは好感が持てます。洗練されたデザインに住まい手のセンスを感じます。また、感性を共有、実現した能力に感服。暮らしには心のよりどころが必要です。隠し部屋のある家、まさに心のよりどころを感じました。



### 株式会社筑豊住建

「和室二間をガレージへ～これからの人生を楽しむ古民家リノベーション～」

【講評】楽しむことをコンセプトにリフォームされた古民家が、住まい手の思いを乗せて見事に復活しました。ざっくりとした空間の捉え方も、逆に新しい利活用のスタイルを感じさせます。眠っている余剰空間の活用は今後の地方再生のきっかけを予感させます。



### もりた住機設備株式会社

「生まれ変わってお出迎え」

【講評】シンプルに必要な部位をリフォームされています。既存とのデザインの繋がりを考えながらすっきりと若々しくデザインされている空間に好感が持



てます。特に竿縁天井の寝室は木の使い方も清々しさを感じました。

### 【全国特別賞】

#### ☆ワークスペース賞

#### 株式会社フレッシュハウス

「築50年、家族の幸せの時間」

【講評】キッチン流しを中央に、その脇にワークスペース、しかも玄関から入ってすぐキッチンというのは、評価の分かれるところ。しかし、生活から出てきたものなら、よいでしょう。とにかく、キッチンに平行する横長ワークスペースというのは面白いし、使い心地もよさそう。耐震補強、断熱改修もバッチリ。



#### ☆着実賞

#### 株式会社サンプロ

「減築リノベ～建替えNGの救世主～」

【講評】接道がとれず、違反建築（越境）、雨漏り、ひびわれ、ブロック基礎、など多くの難点を抱えた物件だった。これらを減築と性能向上（耐震補強、蟻害土台・柱交換、断熱、換気）により着実にクリアーしただけでなく、維持費（光熱費）軽減もシミュレーションと実際の対照で示している。脱衣室―洗面室―家事室―洗濯干し場に繋がる空間も良い。外観もインテリアも爽やかである。技術力満載の家である。これぞリフォームという頭の下がる思いがする。



#### ☆ Barn Reborn 賞

#### 株式会社カスケホーム

「Barn Reborn 1」

【講評】美しい！既存木部と構造用合板の使用など素材のコントラスト、照明の選択、既存窓の扱いのすばらしさ。住まい手の趣味に合せ、出しゃばることなくも主張する、凛とする空間に納屋建築の可能性を見ました。1つてことは2がある？他も見てみたい、気になる作品です。



#### ☆チャレンジライフ賞

#### 株式会社 CONYJAPAN

「再出発～Change my Life」

【講評】辛い事故がきっかけのリフォームですが、真摯に施主と向き合い、信じ合って、素晴らしいリフォームになりました。リフォームの力は無限大！とよく申してきましたがまさに完璧な実現です。単に物質的なバリアフリーだけではなく、心もバリアフリーになりました。3人の男の子たちはこの家で優しく元気に成長していくことでしょう。見事なプランの中に細部に至るワクワクする配慮、くらしを助ける収納、イクメンのステージづくり、大胆かつ繊細で心優しいプランニングです。図面を見るだけで胸が熱くなりました。



### ☆エシカル賞

株式会社ドクターリフォーム・サンセイ  
「『住み継げば、エシカルじゃない?』～新婚夫婦セルフリノベで再生」

【講評】今は空き家状態の祖父母、父が以前暮らしていた家。『もったいない』ので新婚ご夫婦が『セルフリノベ』。『住み継ぐ』まさにエシカルなリフォーム、社会貢献です。家が喜び、ご先祖さまも喜び、若い施主も喜ぶ、三方よしです。スキップフロアで視線を変え、オープンとお籠りの両方を兼ね備えたプランも秀逸。設計段階からよく議論されていて、施主の意向を陰から支える施工の技が見えないところで力を発揮しています。



### ☆スモールスペース賞

株式会社 OKUTA

「共稼ぎ子育て世帯に嬉しい～ミマモル・ツナガル書庫 in リビング～」

【講評】書庫 in リビング、かわいいです。住まいに居ながらにして、サテライト。小さなお店のようでもあるし、中に入ればリビングが街角のようなイメージ。キーワードは繋がる。個室を切り離すのではなく、小さなスペースを繋げることで暮らしが豊かになる好例です。



### ☆終活賞

喜多ハウジング株式会社

「50代から始める終活」

【講評】住まい手の生活と、信念を真摯に受け止め、出来上がった空間は清潔感のある凛とした姿です。女性一人暮らし、次世代に家を残す整理、美しい信念を感じました。リフォームを機に住宅履歴を残す、重要なことです。リフォームとは心の整理、心の荷を下ろす作業でもあることを感じずにはられない作品です。



♡ 2020 年度 ジェルこまち 第2回オンラインデザインセミナー  
 ~ニューノーマル時代のオンラインセミナーを開催。全国から 59 名参加~

## ヨッコリーヌの「VIVA!ひとさじリッチ♡リフォーム!」



夕部氏（写真中央）による Web セミナー「VIVA!ひとさじリッチ♡リフォーム!」

リフォームビジネスでの女性活躍を推進するため、今年から活動をスタートさせた“ジェルこまち”では、ニューノーマルが定着しつつある 10 月 15 日、午後 1 時 30 分から Web セミナー「ヨッコリーヌの『VIVA!ひとさじリッチ♡リフォーム!』」を開催。全国から 59 名が参加した。

講師は、ジェルコで副会長を務める、(株)光テックの夕部美子氏。今回は「リフォームだってファッションと同じで、ひとさじ加えることでうんと素敵になる」をテーマに、リフォームのデザインに女性ならではの視点でプラスαを加えることにより、魅力的な空間を作り出すポイントについて実際のリフォーム事例を交えて紹介した。

夕部氏はセミナーの冒頭で、価格競争が激化するリフォーム業界において安定した受注を得るためには、ただ設備機器を取り換えるのではなく「空間」を手の届くデザインで提案することが重要であると指摘。それに気付いたときのエピソードとして、ある女性誌のタイトルにインスパイアされる形で、リフォームもファッションと同様にローコストでシンプルなコーディネートで華やかに見せることをテーマとした「ひとさじリッチ♡リ

フォーム」というビジネスモデルが誕生した経緯や、コンテストの受賞歴、メディア・SNS を用いた PR 活動の実例を紹介した。

「ひとさじリッチ♡リフォーム」の説明ではファッションの世界を例に挙げ、ユニクロ・しまむら・GU などのファストファッションに、ハイファッションのブランドを 1 点加えることで、シンプルな中にも華やかさがあるように見せる手法であることを説明。リフォームに当てはめると、トイレの便座を既製品から木製品に換えるなど異素材をミックスすることでオシャレ度をアップさせたり、壁紙・クロスの色や形をミックスさせたり、天井や壁などもあえて段差を加えることでオシャレの幅がぐっと広がることや、照明をペンダントライトや間接照明に換えることで雰囲気に劇的な変化をもたらすことができると解説した。

また、収納に関しても棚のカラーやニッチのサイズを工夫するなどして収納自体をデザインの一部とする手法や、インテリアの追加で様々な空間を演出する方法についても紹介した。

最近のトレンド紹介では建具の面白さについて触れ、JAZZ のポスターをイメージにデザイン



それからそれから・・・

H10. それなりに経験を積みノイローゼになるくらいの大失敗も経験しました。

**リフォーム業界の変革** 価格では勝負出来ない時代へ安定受注の厳しさ  
数字に追われる毎日。資金繰り・・・

「デザインリフォーム」でやっていく覚悟

- ただ、設備機器を取り換えるだけではなく空間提案する。
- 手の届くデザインを提案。

キタ (▽) !!!

H20. ビジネスステアマの神降臨

Oggiのタイトル  
“ひとさじリッチ” シンプルならいつでも美人！どこでも華やか

ローコストでシンプルなコーディネートにひとさじの  
ハイファッションアイテムを加えて華やかに魅せる特集♡

この“ひとさじリッチ”って  
リフォームの提案も一緒じゃない？

ひとさじリッチ♡リフォーム アイテム編

この“ひとさじリッチ”って、リフォームの提案も一緒じゃない？  
私が考えるひとさじアイテム！

“ひとさじリッチ”アイテム  
木製便座

高知県の  
“もくレース”を  
建具の明かり窓に  
はめ込みました。

ガラスの欄 ガラスブロック

身回りにも  
“ひとさじリッチ”のアイテムがいっぱい！

エコカーペット  
モザイクタイル

**異素材をミックスしてオシャレ度をアップ！**

最近「建具」がオモシロイ！

DOREMI ♪ DOOR

音楽の街はH22のビジネスステアマがイメージした  
ゼンビロ！トランペットとギターをモチーフにした  
空間が人気！また、空間からインテリアまで  
こだわりとセンスが光ります。また、建具に  
音楽のイメージを取り入れたデザインも人気！  
（中にはおもしろいおもしろいものも！）  
こちらも是非チェックしてみてください。

デザインは勇氣！日頃の訓練の積み重ね！

ひと現場、ひと挑戦！

という事で、昨年はオフィスデザインに挑戦しました！！

お施主様の想像を超える  
私らしい、デザインをめざして

また機会があればこちらのオフィスの話もまた今度♪

Instagram 始めました。  
hitozaki\_yoko フォローお願いします。

## 「ひとさじリッチ♡リフォーム！」のコンセプトや自身が手がけた実例を紹介

した扉やレインボーカラーのドア、インスタ映えするドア、既製品とオーダーメイドを組み合わせた開口部、アンティーク感を強調したドアガラスなどを紹介した。また、明かり窓にもデザインを施すことによって、より魅力的な空間になる実例を紹介ほか、リフォーム時の解体で生じる「除けない柱」の問題について、柱にひとさじのデザインを加えることで「残念柱」にさせない工夫についても実例を紹介した。事例紹介では「4人の着物美人がおもてなし♪」や「Passion Reform ☆」などの事例で、どのような空間をイメージし、それを実現するための建材をどのように選ぶかを説明した。また、「ひとさじリッチ♡リフォーム」

の際に、イメージに合う既製品が無い場合、どのようにしてオリジナルの部材を作れば良いのかを紹介。ファッションアイテムやネイルアート、料理など身の回りにはデザインの発想につながるヒントが溢れていることを解説した。

セミナーの最後には、デザイン力を育てるのは日頃の訓練の積み重ねが重要と述べ、自身が掲げる「ひと現場、ひと挑戦！」を実践する実例として、昨年、初挑戦したオフィスデザインを紹介し、次のように締めくくった。「デザインも暮らしの中にもほんの“ひとさじ”って何かいいと思いませんか？明日からもひと現場、ひと挑戦で頑張りましょう」と呼びかけてセミナーを終了した。

## 第2回 ジェルこまち DAY2020 @ ZOOM

女性ならではの新しいデザインや経営のスタイルを発信！

## 2021年に向けたリフォームの在り方を女性の視点で探る



12月15日に開催された「第2回 ジェルこまちDAY2020@ZOOM」には延べ238名が参加

リフォームビジネスでの女性活躍を推進する“ジェルこまち”。発足から2年目となる2020年はコロナ禍に見舞われながらもオンラインを活用し、セミナーや交流会で多くの情報を発信してきた。12月15日には、2020年度を総括する「第2回 ジェルこまち DAY2020 @ ZOOM」を開催し、2021年もニューノーマルの中で多くの課題に対峙しながら、新しいデザインや経営スタイルを発信していくため、ジェルこま치의活躍をオンラインで発信。全国から延べ238名が参加した。

「第2回 ジェルこまち DAY2020 @ ZOOM」は全5部で構成されており、第1部が愛知淑徳大学創造表現学部の松本佳津教授による基調講演「人生を変えるインテリア」、第2部が(株)ビッグアイの杉浦克子代表取締役による「女性活躍の経営と環境作り」、第3部がフリー・インテリアコーディネーターの田崎由美子氏とジェルコの夕部美子副会長による「田崎・ヨッコリーヌのデザイン対決」、第4部が「みんなのジェルこまちセッション」

その後には協賛メーカー5社の商品説明、第5部がオンラインの懇親会&忘年会となっている。

冒頭の開会挨拶では盛会長が「コロナ禍で様々な活動が中止となるなかで唯一、ジェルこまち活動だけは成果を上げています。今後もジェルこまち活動を起点として女性が活躍する場を広げていただきたい」と期待を述べた。

第1部の基調講演では、様々な事例を紹介し、生活者のヒストリーやストーリーを尊重することで施主にとって唯一無二の存在になれると述べたほか、人生とインテリアの関係性について、世界観を構築するにはバックビジュアルが重要であると説明した。加えて、デザインの7要素を意識することで様々な問題を解決できると解説したほか、オリジナルテーマのすすめとして、インテリアを起点にプランニングやプロモーションなどを各々3つ以上のカテゴリーを展開することで強みを絞り込めると説明した。講演の最後には、インテリアがもたらす意識や生活の変化につ



第1部は松本教授による基調講演



第2部で杉浦氏は自社の取組みを紹介



第3部でデザイン対決を繰り広げた田崎氏と夕部氏



第4部で司会を務めた主森氏

いて説明したほか、アフターコロナの未来像はインテリアの視点から探ることで最適解を導き出せると語った。

第2部では、杉浦氏が女性比率50%を越える自社の取組みを紹介。女性ならではの営業活動やマネジメント、人材育成、マーケティング、デザインセンス、社風改善などのメリットを挙げる一方で、力仕事や職人への対応、賃金水準の差、育児や家事による労働時間制限などのデメリットも挙げ、女性活躍の推進には環境づくりが重要であると訴えた。また、事例紹介では社員の目標設定・高給与・労働時間短縮・終身雇用制・ステップアップの可視化など、自社の取組みについて紹介した。最後にワークライフバランスへの気遣い方やジェルコの活用方法などを紹介した。

第3部は田崎氏の「マテリアルバランスコーディネート」による“豊かな商品知識でリユクス

な空間提案”と、夕部氏の「ひとさじリッチパッションリフォーム」による“どこにもないオンリーワンのデザインアイテムをひとつ”という方向性の異なるデザインコンセプトについて、その成り立ちや具体的な手法についての事例や手がけた物件の実例を各々が紹介。デザインのポイントや建材の選択、提案の手法などについて、おしゃれで華やかなデザイン対決を繰り広げた。

第4部のジェルこまちセッションは(有)ミオ・デザインの主森氏による司会・進行でスタート。仕事の失敗談や落ち込んだときの対処法、普段の仕事できにかけているマイルール、パートナーとの仕事・家事の分担、子育てなどの悩み事に対する克服方法などについて、オンライン通話やチャットなどで意見交換を行ったほか、協賛メーカーの商品説明が行われ、第5部の懇親会&忘年会へと続いた。



# ● 件数鈍化した が 金額増加へ

## ● 顧客の意識が3か月で大きく変わる

アフターコロナとなるか、来年の見通しは？

昨年はコロナ禍の1年となりました。まだまだ収まらない状況ですが、今年は住宅・リフォーム市場にとってどんな年となるのでしょうか。このアンケート調査は平成26年の4月からスタート、今年7年目を迎えました。昨年の経済的な落ち込みはリーマンショック以上となり、リフォーム業界も大きな影響を受けました。感染拡大第1波の昨年4～5月の緊急事態宣言では、ジェルコ会員でも受注が平均2～3割減となりましたが、その後回復。昨年末から今年にかけては第3波の感染拡大と経済への影響がいつまで続くか大変憂慮されるどころです。しかし今年3月末からワクチンの供給開始、東京オリンピック開催など明るいニュースもあります。今回の調査では、今年のウイ

ズコロナでの景気、住宅・リフォーム市場の状況、さらにはアフターコロナ時代のテーマ、資材・職人などの状況について聞きました。消費者意識がどう変化したかについても前回と同じ質問をしていますが、この3か月間で大きく意識が変わってきましたようです。今回も会員の皆様から多くのご意見を頂きました。ご回答は会員49社からいただきました。ありがとうございました。

### 1、会員企業の年商、社員数などについて

今回は新型コロナウイルスの第3波が全国的に広がった時点の12月初旬の調査だった。10月～12月期はちょうどGoToキャンペーンの成果が見えた一方、一段と感染拡大が広がり、新年に向かって大きな不安が広がった。こうした中、リフォーム

会員企業のプロフィール（年間売上高、社員数、平均粗利益率）

会社情報（平均）						
	第21回 (R1.10)	第22回 (R2.1)	第23回 (R2.4)	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)
男	11.8	10.7	8.2	15.9	12.0	10.7
女	7.8	6.0	5.8	11.7	10.9	8.9
資本金	2,738	2,108	2,074	3,117	2,948	2,064
年間売上高（万円）	72,075	32,059	45,609	83,399	33,918	82,085
平均粗利益率（%）	27.2	27.5	28.6	28.8	31.3	29.4
代表者年齢平均	57.9	56.0	55.9	57.3	58.1	62.7
中央値						
	第21回 (R1.10)	第22回 (R2.1)	第23回 (R2.4)	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)
男	5.0	4.5	4.0	5.0	4.5	4.0
女	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高（万円）	23,500	20,000	20,000	24,500	19,000	22,500
平均粗利益率（%）	28.0	28.0	28.0	29.0	28.0	29.0
代表者年齢平均	57	57.0	55.0	58.5	58.5	61.0
最頻値						
	第21回 (R1.10)	第22回 (R2.1)	第23回 (R2.4)	第24回 (R2.7)	第25回 (R2.10)	第26回 (R2.12)
男	3	4	4	1	4	2
女	3	2	3	3	1	1
資本金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年間売上高（万円）	15,000	20,000	8,000	30,000	20,000	9,000
平均粗利益率（%）	30.0	30.0	28.0	30.0	30.0	30.0
代表者年齢平均	45	66	46	71	71	62

市場はジェルコの今回の調査を見ると、件数では「増加」が32.7%、「減少」が36.7%で、4ポイントほど減少が多かったが、金額では「増加」が40.8%と業績が回復したような結果となった。

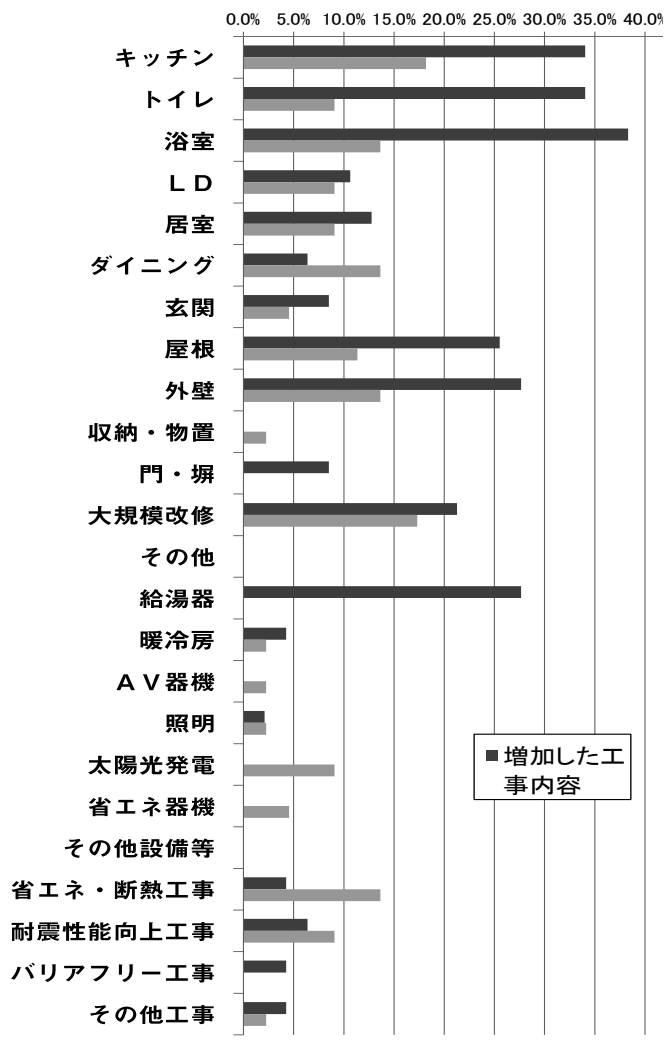
毎回行っている基本事項の調査では会員企業の社員数、売上高、平均粗利益率等について見てみると、結果は表の通りである。

従業員数では平均で男性が10.7人（前回12.0人）、女性が8.9人（前回10.9人）。年間売上高は平均で8億2085万円（前回3億3918万円）。平均粗利益率は29.4%（前回31.3%）であった。社員数、売上高ともに前回の調査より大きくなっている。売上高の中央値は2億円を超え2億2500万円となった。粗利益率では、平均値が29.4%とだったが、中央値29.0%、最頻値30.0%と前回調査と同じだった。

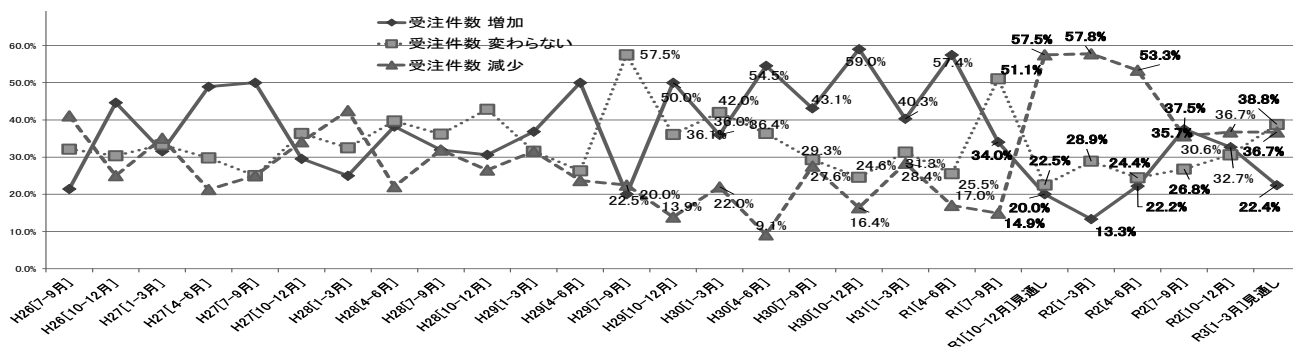
## 2. 会員各社の景況感について

〔10-12月〕期の受注については、受注件数では「減少」が「増加」を4ポイント上回ったが、受注金額では「増加」が「減少」を12ポイント増えて40.8%であった。を緊急事態宣明けの前の期

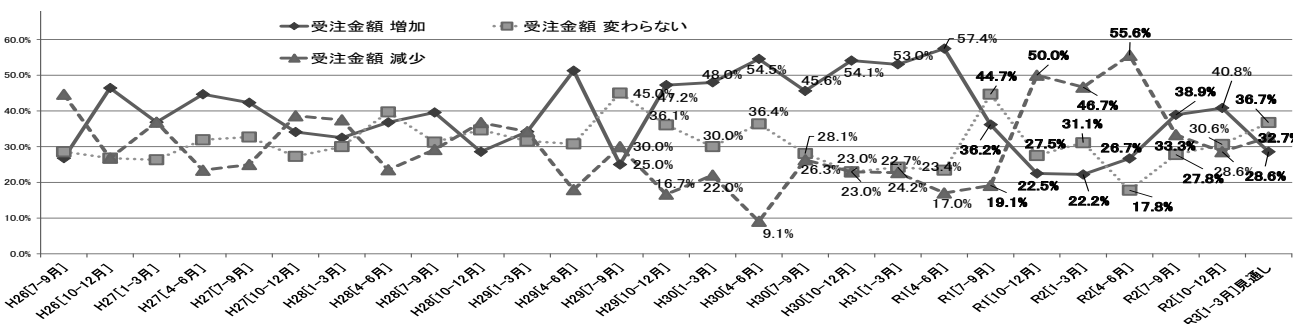
〔10-12月〕期に増減した工事内容



四半期毎の受注推移 (件数)



四半期毎の受注推移 (金額)



からの回復基調が続いているが、受注件数は、新型コロナ感染2波、3波の拡大の影響がある感じで増加が鈍った。工事規模別では300万以下の小工事、小中工事が件数・金額ともに「増加」が「減少」を数ポイントから10数ポイントも上回った。

今期〔1-3月〕期の見通しでは、受注件数、受注金額ともに「変わらない」、「減少」が回答の7割を超えた。受注件数で「減少」が「増加」の回答を14ポイント上回っており、前回よりも弱気の予測が増えている。本来であれば3月の年度末需要に向かって期待が高いが、全国的な感染拡大が収まらないので当然の予測のようだ。

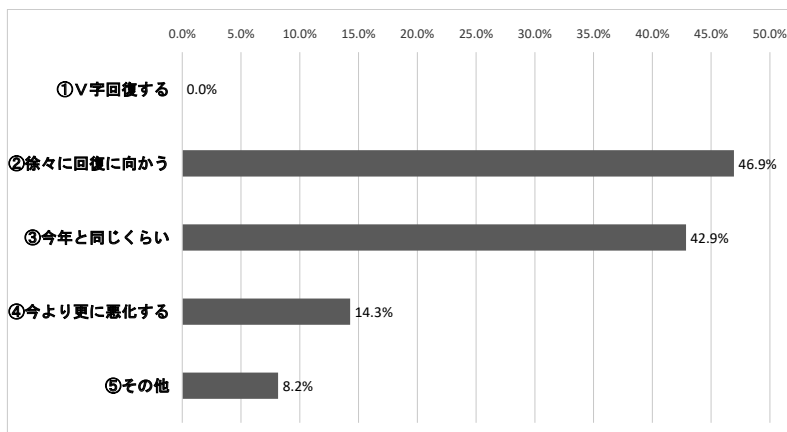
部位別の「増加」・「減少」した工事では、前回の調査に引き続き、水回りのキッチン、トイレ、浴室をはじめ外回りの屋根、外壁が大幅に増加している。また大規模改修も「増加」が「減少」を数ポイント上回った。期待される工事規模では、小中工事が最も多く46.8%、次いで小工事34%で小規模工事への期待が高かった。

### 3. 来年の経済、住宅・リフォーム市場の見通し

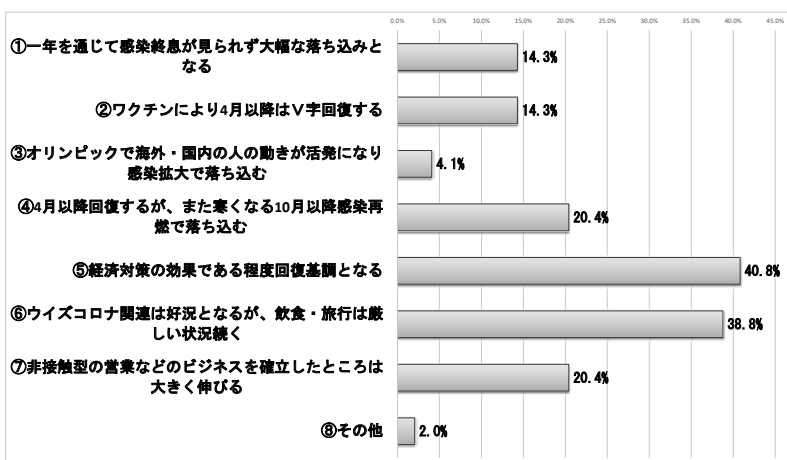
12月に入り新型コロナの感染が全国的に急速に拡大しており景気に行方が一段と厳しくなっているが、新年恒例ではあるが今年一年の「景気の見通し」を聞いた。結果は「徐々に回復に向かう」と「昨年と同じくらい」がそれぞれ4割を超えた。「更に悪化する」が1割弱で、「V字回復する」とした回答は一人もなかった。

具体的な景気の見通しで一番多かったのは「経済対策の効果である程度回復基調となる」が40.8%、次いで「ウイズコロナ関連は好況、飲食・旅行は厳しい」が38.8%だった。経済対策への期待が大きい。

#### 今年の景気の見通し



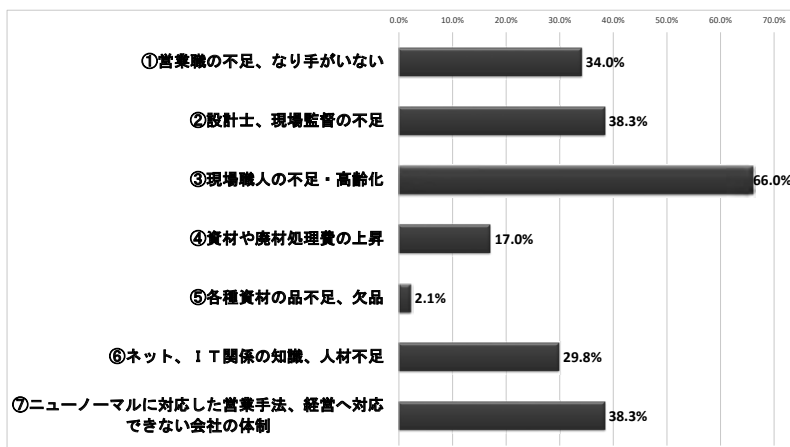
#### 景気見通しの具体的なイメージは



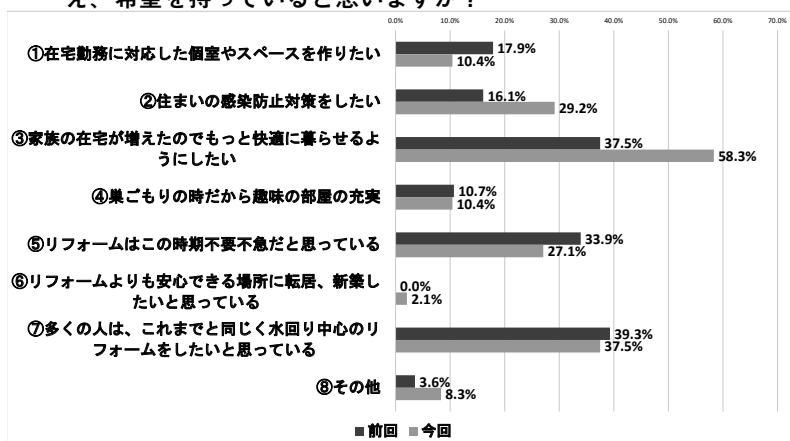
また、今後新たな生活様式や価値観が広がる中で、住宅・リフォームでの問題や新たな対応等について、まずリフォームの経営上問題となりそうなことでは、「現場職人の不足・高齢化」が66%と最も多かった。次いで「設計士、現場監督の不足」、「ニューノーマルに対応した営業手法、経営へ対応できない会社の体制」が共に38.3%で、「営業職の不足」を上回った。また「ネット、IT関係の知識、人材不足」も3割近くあり、これからは営業職の人材不足より、現場や技術者不足が経営上の大きな問題としている。

顧客は、昨年一年間のコロナ禍の中でリフォームに対するどう変わってきたのか、「あなたの会社のお客は今後リフォームにどのような希望を持っているのか」について前回のアンケートの同じ質問を行った。前回に比べ「家族の在宅が増えたのでもっと快適に暮らせるようにしたい」が

## アフターコロナの中で、経営の上で問題となることは？



## あなたの会社のお客は今後リフォームに対して、どういう考え、希望を持っていると思いますか？



20ポイント以上増え58.3%であった。また「住まいの感染防止対策をしたい」も14ポイント増え29.2%となり、3か月前に比べて、家族で暮らす大切さ、感染対策への意識が大きく変わったようだ。

最後に回答していただいたジェルコ会員企業の方々の今年の抱負、見通しなどの主な意見は、次の通りである。(内容は抜粋した)

- ・ここ最近土地の動き、人の動きはこれまでと少し違ってき始めました。来年度は今年よりは業界環境は良くなると思います。
- ・状況に合わせた対応が必要と思う。縮小又増員等。
- ・免疫力を上げる空間づくりの全国展開で受注アップする
- ・アフターコロナは確定ではないので、状況を見

ながらなりで行きたいと思います。

- ・在宅勤務で住まいのあり方について考える時間がふえるのでリフォーム工事は回復に向かうと思います。
- ・子育て世代の持ち家希望はライフサイクルで起こる欲求なので、そう落ち込みはないと思います。
- ・住宅内部の工事はコロナの影響があるので外装を強化して行きたい。
- ・向かい風の時代だが、視点を変えて追い風に変えていきたい！
- ・家にいる時間が長くなった2020年。家の不満や不便に対してより感じる方が増えている中、私たちが技術をもってお役立ちできることが増えるのではないかと感じています。耐震、省エネをはじめとする性能向上リフォームをプラン、設計、現場レベルで正しく遂行するスキルを更に高める必要があると考えています。
- ・競争はさらに激化する。ITなどの知識が更に重要となる。

- ・たんとんと基本を貫く
- ・異業種からのリフォーム業参加や価格競争が増えると思う。会社の強みの強化をして、生き残れる会社になりたい
- ・従来よりも、必要最低限のリフォーム内容にとどまる。小工事、小中工事の受注が増えていくのではないかと思います。
- ・中古住宅流通の性能向上リフォームが増えると思います。
- ・完全なデジタルになるとは思っていないが、ローカルな部分を残しつつ、デジタルの方にも切り替えが必要。特に商談やイベントなど今もそうだが、勉強していかなければ生き残れないと思っている。
- ・自社のブランド力を高め、売上拡大と工物品質向上を実現すべく、販工分離を成功させ、目標を達成する。

## 2・3・4種会員PRコーナー

2・3・4種会員の皆様に自社のPRをして頂くコーナーを作りました。

PR内容は第1種会員を始め、自社以外の全ての会員様に自社の活動・売りたい商品（個人ベースでも可）を認知頂く主旨で開設致しました。

2・3・4種会員を1回のレポートで数社紹介させていただきます。約100社登録頂いていますので年3回として5年に1回廻る計算です。尚順番はジェルコ会員登録順にお声掛けしています。

同じ仲間として是非お目通し願います。

### 発行物のご案内

住宅ビジネスの  
戦略データ誌

「月刊住宅ジャーナル」

毎月発行（年12冊）  
年間購読：12,000円（税別）



内装建具の技術を  
追求する新雑誌

「インフィル・テクノロジー」

毎月発行（年12冊）  
年間購読：12,000円（税別）



木造建築・住宅を  
つくる人のための新媒体

「プレカットユーザー」

隔月発行（年6冊）  
年間購読：6,000円（税別）



エルエルアイ出版は21世紀ストック社会を踏まえ、長寿命住宅の建築や長期優良住宅化リフォームの推進をバックアップするための各種ソフト支援を提供する企業。様々な団体の事務局も務めています。

(株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-27-4 靴下会館6階  
TEL:03-3868-0738 FAX:03-5809-3650 <http://socks-center.xsrv.jp/>

全国対応

雨漏りの早期発見と早期解決が可能  
儲かる雨漏り!? 逆転の発想で利益誘導を図る

この様な事業者様の雨漏り調査や相談を承ります  
雨漏りで深刻な問題を抱える事業者様  
雨漏り事故防止対策を真剣に考える事業者様  
雨漏り相談に臆さず対応したいと考える事業者様  
安心して是正工事提案をしたいと考えている事業者様

雨漏りでお悩みの全ての方にアマケンがお応えします  
一般社団法人雨漏り検診技術開発研究所  
042-495-9685 Webサイト **アマケン** で検索



### アマケン活動3つの特徴

- 1 建築のプロでも解らない雨漏り事案を解決している団体
- 2 業界で唯一雨漏り原因の特定と検査保証をする団体
- 3 雨漏り検査技術(特許取得)の採用で全ての構造体を対象







# LIXIL リフォームネット登録店様用アプリ

LIXIL  
Link to Good Living

リフォーム営業マンの  
「売る力」を強くする  
**「レ-ポケット」**  
iPhone専用アプリ  
新登場!



POINT1  
リフォーム知識  
機能

POINT2  
リフォーム情報  
機能

POINT3  
リフォーム診断  
機能

アプリの魅力が  
3分でわかる  
動画はコチラ



※Android版、iPad版は2021年4月リリース予定

LIXILリフォームネット

オンライン  
加盟説明会開催

1/28(木) 13:30~

2/25(木) 13:30~

お申込みはこちら▶



様々な住まいに関わる

## 住設機器や設備をどこよりも豊富に取り扱っています!



明日の快適なリビングを考える



ソーゴ-は関東のリフォーム店・工務店約 5,000 社とパートナーシップを結んでいます

〒173-0004 東京都板橋区板橋4丁目2-3 <http://www.sogo-v.co.jp>

■東京支店/板橋・足立・江東・杉並・世田谷・東京中央・江戸川・練馬・城南 ■神奈川支店/あつぎ・横浜北・港南・横浜中央・湘南・横須賀・沼津・川崎 ■埼玉支店/さいたま・越谷・むさし・朝霞・川口・熊谷 ■東関東支店/松戸・千葉・市原・船橋 ■西関東支店/多摩・八王子・府中・町田 ■北関東支店/高崎・太田・宇都宮 ■越谷ショールーム



## ① 支部会（役員会・定例会など）の使い方

ジェルコでは全国どの支部でも定期的に定例会、支部会、ブロック会、地区会、支部役員会などを開催しており、毎回様々なテーマで話し合わせ、情報交換の場として活用されているほか、様々なセミナー、講習会なども企画・実施されています。こうした会合やイベントなどは会員であれば誰でも参加できますので、ジェルコの毎月の活動を肌で知ることができます。



## ② 各種セミナー、勉強会の使い方

ジェルコの全国8支部では年間を通じて、ほぼ毎月様々な活動をしています。本年はZOOMを使ったセミナーを充実させています。本部発信のWelcome JERCO Salonは、ミニセミナーと商材等紹介を行い、終了後には情報交換会を行っています。詳しくは本部事務局にお問合せください。



## ③ 増改築相談員（新規・更新）研修会の使い方

これからリフォームをしようと考えている人が最初に悩むことは「どの業者に頼もうか」ということです。そのようなとき、他社と差別化できる資格が増改築相談員です。実務経験10年以上のキャリアを有した増改築相談員であることをPRすることで、技術的な信用度もグッと上がります。ジェルコでは全国8支部で、毎年増改築相談員研修会を開催しています。開催日程など詳しい情報はジェルコのホームページをご覧ください。今期も「3密」を避けながら開催しています。



## ④ ジェルコ総合補償制度と「みんなのミカタ」の使い方

ジェルコ独自の工事保険として好評の「ジェルコ総合補償制度」は約100社が加入しており、

- ① 工事中の工事そのものの損害
- ② 工事中の第三者に与えた損害(施主の財物も含む)
- ③ 工事完了引渡し後に施主や第三者に与えた損害
- ④ 工事期間中に工事現場で偶然な事故により工事対象物などに生じた損害

を総合的に補償します。

2019年からは従業員の福利厚生を目的に、日本初！業種団体一括加入の「みんなのミカタ」（団体長期障害所得補償制度）も立上げ、募集をしています。

総合補償制度、「みんなのミカタ」ともに国内トップ水準の保険料率です。随時受け付けていますので、是非参加されることをお薦めします。

## ⑤ ジェルコアカデミーの使い方

ジェルコ会員としてリフォーム事業を遂行するために備えておきたいリフォームに関する総合的な知識を学ぶために、ジェルコリフォームアカデミーがあります。主だった事業は以下ようになります。

① ベーシックコース：ジェルコ会員必須受講となっており、「ジェルコ倫理憲章」と「リフォーム業務品質」の2科目で構成されています。倫理憲章では会員としての行動規範、リフォーム事業者としての心構え等について学びます。リフォーム業務品質では適切かつ最低限必要なリフォーム工事のガイドラインについて学びます。

② 住宅リフォーム総合技術者2級講習：2016年より、新入社員を含む実務経験年数の浅い方を対象にした資格制度を創設しました。合格者には修了証と登録カードを発行しています。2019年度よりオンデマンド受講でコロナ禍の中講師と対面せずに学べます。



## ⑦ 企業訪問（ベンチマーク）の使い方

ジェルコ創設以来の伝統と言えるのがこのベンチマークです。地域戦略を基本としているリフォーム事業ですので、エリア外会員の企業訪問申し込みに快く受け入れてノウハウを提供してくれる会員が多くいます。近年では個社同士だけではなく、支部単位でのベンチマーク研修会が増えてきました。

※現在は一部で実施中です。



## ⑥ ジェルコリフォームコンテストの使い方

デザインの優劣を競うデザイン部門は毎年500点前後の応募があり、全国的にも権威のあるコンテストになりました。また2017からは経済産業省のバックアップを受け、ビジネスモデル部門を新設し、最優秀賞には「経済産業大臣賞」が贈られます。2018年からはユーザーフォト部門を新設し、リフォームに関するスナップ写真に賞を贈っています。

毎年7月から応募を開始していますので、ジェルコホームページをご覧ください。奮っての応募をお待ちしています。



## ⑧ アフタージェルコ（懇親会）の使い方

全国8支部のジェルコでは、毎月役員会やセミナーなどを開催しています。多くの支部では会合の後に懇親会（アフタージェルコ）をセットしています。

ここでは昼間のセミナー等では聞けなかったこと、聞きそびれたことなどを、オープンに聞くことができます。セミナー講師が参加されることも多いので、じっくりと疑問点や問題点を掘り下げて聴くこともできます。このアフタージェルコから参加される会員もいます。

※現在は一部で「3密」を避けて実施中です。



## 新入会員紹介



### 【中部北陸支部】

三承工業株式会社

代表取締役 西岡徹人 さん

岐阜県岐阜市 第1種会員

「全ての皆様に感謝の心で愛情と想いやりのある人・物づくり」という理念を基に住宅販売を中心とした様々な事業を通して社会課題を解決する持続可能なビジネスモデルを展開しております。今後は住宅再生(サステナブルリノベーション)を新たな切り口として加え、多くの価値を提供していきます。今後とも宜しくお願い致します。



### 【中部北陸支部】

株式会社桑原

代表取締役 桑原英寿 さん

愛知県一宮市 賛助会員

この度、ジェルコに加盟承認いただき大変光栄に存じます。株式会社桑原(クワハラ)と申します。ファッション業界のドクターとして、アパレル・雑貨の検品、修整(リペア)、加工を中核事業としており、創業63年目を迎えます。愛知県一宮市に本社があり、国内外に30以上の拠点をもちます。アパレルで培ったリペア技術を応用転用して、建築・住宅のリペア、リフォーム事業に挑戦したいと考えております。

会員の皆様にはこれからお世話になりますが、宜しくお願い申し上げます。

## ■ ジェルコ支部所在地 ■

### 北海道支部事務局 (株)北海道住宅新聞社

〒001-0029 北海道札幌市北区北29条西4-2-1-201

Tel:011-299-1334 / Fax:011-717-1770

### 東北支部事務局

〒990-0074 山形県山形市芳野64番地 (株)感動ハウス

Tel:023-641-9585 / Fax:023-632-3865

### 関東甲信越支部事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-3-2 佐藤ビル3F

Tel:03-5541-6051 / Fax:03-5541-0128

### 中部北陸支部事務局 (株)リビング春日井

〒486-0807 愛知県春日井市大手町3-14-13

Tel:0568-82-8717 / Fax:0568-82-8723

### 近畿支部事務局 (有)ミオ・デザイン

〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋北町1-5-20

Tel:078-801-2537 / Fax:078-801-2538

### 中国四国支部事務局 (株)やまもと住研

〒737-0823 広島県呉市海岸1-4-3

Tel:0823-25-7404 / Fax:0823-25-7404

### 九州支部事務局 B's Plan

〒820-0004 福岡県飯塚市新立岩2-13

Tel:0948-22-2929 / Fax:0948-52-6470

### 沖縄支部事務局 (有)サニマイト

〒901-2215 沖縄県宜野湾市真栄原3-11-14

Tel:098-898-6444 / Fax:098-897-6696